

# 名古屋大学学術憲章

名古屋大学は、学問の府として、大学固有の役割とその歴史的、社会的使命を確認し、その学術活動の基本理念をここに定める。

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する。このために、以下の基本目標および基本方針に基づく諸施策を実施し、基幹的総合大学としての責務を持続的に果たす。

#### 1. 研究と教育の基本目標

- (1) 名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- (2) 名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。

#### 2. 社会的貢献の基本目標

- (1) 名古屋大学は、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- (2) 名古屋大学は、その立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域 の発展に貢献する。
- (3) 名古屋大学は、国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。

#### 3. 研究教育体制の基本方針

- (1) 名古屋大学は、人文と社会と自然の諸現象を俯瞰的立場から研究し、現代の諸課題に応え、 人間性に立脚した新しい価値観や知識体系を創出するための研究体制を整備し、充実させる。
- (2) 名古屋大学は、世界の知的伝統の中で培われた知的資産を正しく継承し発展させる教育体制を整備し、高度で革新的な教育活動を推進する。
- (3) 名古屋大学は、活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文 化の国際的拠点を形成する。

#### 4. 大学運営の基本方針

- (1) 名古屋大学は、構成員の自律性と自発性に基づく探究を常に支援し、学問研究の自由を保障する
- (2) 名古屋大学は、構成員が、研究と教育に関わる理念と目標および運営原則の策定や実現に、 それぞれの立場から参画することを求める。
- (3) 名古屋大学は、構成員の研究活動、教育実践ならびに管理運営に関して、主体的に点検と評価を進めるとともに、他者からの批判的評価を積極的に求め、開かれた大学を目指す。

#### 名古屋大学の規模の概略 [平成22年5月1日現在]

### 

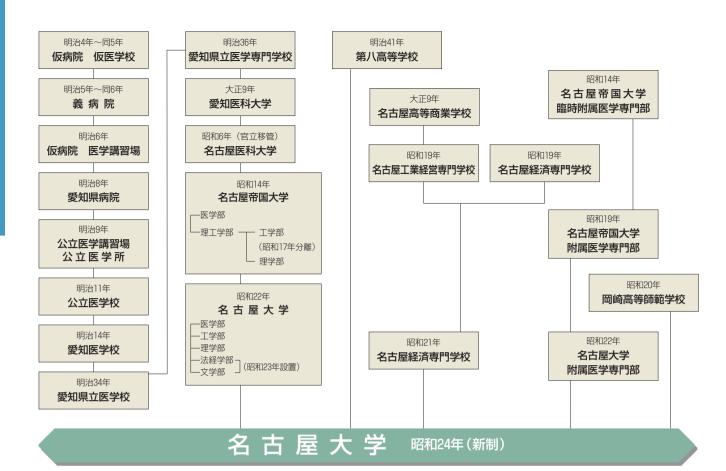
### 学年暦

学年開始 4月 1日 第1学期開始
入学式 4月 5日
第1学期授業期間 4月13日~7月23日
名古屋大学記念日 5月 1日
第1学期試験・授業期間 7月26日~8月 6日
夏季休業8月8日~9月30日
第1学期終了 9月30日
第2学期開始10月 1日
第2学期授業期間10月 1日~1月27日
冬季休業12月28日~1月 7日
第2学期試験・授業期間 1月28日~2月10日
卒業式3月25日
第2学期終了 学年終了 3月31日

# 名古屋大学 プロフィール **2010**

# 資料編

沿 革	2	国際交流28
歴代総長	3	教職員の国際交流・留学生交流
組 織	4	教職員の海外渡航状況
組織図		外国人研究者等の受入状況 教職員の海外渡航者数・外国人研究者等受入数の推移
事務組織図		お費別留学生数
役職員	6	受入区分別留学生数
役員等		学生の海外留学者数
経営協議会委員		国(地域)別留学生・外国人研究者等受入状況
教育研究評議会評議員 総長補佐		留学生数の推移 所属別留学生数
部局長等		地域区分別留学生数
教育研究組織	8	外国大学等との協定締結状況
教養教育院		学術交流協定
高等研究院		産学連携に関する協定 国際共同研究に関する協定
学部 大学院		グローバル COE プログラム拠点における博士課程後期課程
総合保健体育科学センター		学生受入にかかる覚書等
素粒子宇宙起源研究機構		国際学術コンソーシアム The Academic Consortium 21:AC21
附置研究所		社会との連携協力
全国共同利用施設		地域貢献特別支援事業
学内共同教育研究施設等 技術組織		公開講座開催状況 産学協力の現状
附属図書館		民間等との共同研究実施件数(研究分野別)
医学部附属病院		民間等との共同研究実績件数及び受入金額
役員・教職員数	14	受託研究経費(政府出資金を含む)受入件数及び受入金額
学生数	16	寄附講座·寄附研究部門設置状況 部局別特許件数
学部等学生数		財 政40
大学院学生数		財政状況(平成21年度予算決算額)
教育学部附属学校生徒数 単位互換制度に基づく交流学生数		収入
入学状況	17	支出
学部入学状況		平成21年度外部資金の状況 科学研究費補助金
大学院入学状況		科学研究費補助金受入状況
出身高等学校所在都道府県別入学者状況(学部)		グローバル COE プログラム
学生募集	19	国際化拠点整備事業(グローバル30)
学部入学者選抜の概要 大学院入学者選抜の概要		GP 等 その他の政府補助金等
本業・修了者数 ····································	21	寄附金等
学部卒業者数		寄附金受入状況
学位授与者数		諸施設42
卒業・修了後の状況	22	運動施設:課外活動施設等一覧
学部卒業後の状況		福利厚生施設等設置状況
就職者の産業別就職状況		教職員・学生用宿泊施設 学生寮・その他施設
大学院博士課程前期課程・修士課程修了後の状況 大学院博士課程後期課程・医学博士課程修了後の状況		保育園・保育所
ノーベル賞・文化勲章等 受賞者	24	土地及び建物44
ノーベル化学賞受賞者		中期目標・中期計画 46
ノーベル物理学賞受賞者		キャンパス所在地・海外拠点一覧 50
文化勲章受章者		キャンパスマップ 52
文化功労者 日本学士院賞受賞者		アクセスマップ
ローバル COE プログラム・GP 等 ···································	26	
グローバル COE プログラム	_0	
国際化拠点整備事業(グローバル30)		
GP		
科学技術振興調整費		



# 名古屋大学 平成16年(国立大学法人)

```
文
    学
        部
                                       昭和21年
                                       環境医学研究所(大学附置)
  育
        部
                                       昭和24年
                                                           平成2年
                  (昭和25年分離)
           -経済学部 -
                                       空電研究所(大学附置)
                                                           太陽地球環境研究所
                                                           (大学附置·全国共同利用)
情報文化学部(平成5年設置)
理
        部
                                       平成18年
                                       エコトピア科学研究所(大学附置)
医
    学
        部
    学
        部
Т
                                       昭和48年
                                                           平成5年
農
        部 (昭和26年設置)
                                       水圈科学研究所(大学附置)-
                                                           大気水圏科学研究所
分
        校-教養部(昭和38年設置)-(平成5年廃止)
                                                           (大学附置·全国共同利用)
大学院文学研究科
                                                           平成13年
           大学院教育発達科学研究科
                                                           地球水循環研究センター
大学院教育学研究科
                                                           (全国共同利用)
           (平成12年改称)
                           (昭和28年設置)
大学院法学研究科
                                       昭和46年
                                                           平成14年
大学院経済学研究科
                                                           情報連携基盤センター
                                       大型計算機センター
                                        (全国共同利用)
                                                           (全国共同利用)
大学院理学研究科
大学院工学研究科
                                                           平成21年
           大学院医学系研究科
                                                           情報基盤センター
大学院医学研究科
                                                           (全国共同利用)
           (平成14年改称)
                           (昭和30年設置)
           大学院生命農学研究科
                                       昭和18年
大学院農学研究科
           (平成9年改称)
                                       航空医学研究所(大学附置) -
                                                          - (昭和21年廃止)
大学院国際開発研究科
          (平成3年設置)
                                       昭和36年
                                                           平成元年
           (平成4年設置)-(平成15年廃止)
大学院人間情報学研究科
                                        プラズマ研究所(大学附置)
                                                           核融合科学研究所
大学院多元数理科学研究科
           (平成7年設置)
                                                            (大学共同利用機関へ発展)
大学院国際言語文化研究科
          (平成10年設置)
                                       昭和52年
大学院環境学研究科
          (平成13年設置)
                                       名古屋大学医療技術短期大学部(名古屋大学併設)
大学院情報科学研究科 (平成15年設置)
                                                               - (平成13年廃止)
```

#### 前身校期

\_\_\_\_ 1871(明治 4)年 仮病院 仮医学校開設 1872(明治 5)年 義病院設置 1873(明治 6)年 仮病院 医学講習場設置 1875(明治 8)年 愛知県病院設置 1876(明治 9)年 公立医学講習場 公立医学所設置 1878(明治11)年 公立医学校設置 1881(明治14)年 愛知医学校設置 1901(明治34)年 愛知県立医学校設置 1903(明治36)年 愛知県立医学専門学校設置 1908(明治41)年 第八高等学校設置 1920(大正 9)年 愛知医科大学設置 名古屋高等商業学校設置 1931(昭和 6)年 (官立移管)名古屋医科大学設置

#### 帝国大学(旧制大学)期

1939(昭和14)年 名古屋帝国大学創設(医学部と理工学部の2学部) 名古屋帝国大学臨時附属医学専門部設置 名古屋帝国大学理工学部を理学部と工学部に分離 1942(昭和17)年 1943(昭和18)年 名古屋帝国大学航空医学研究所設置(1946年廃止) 名古屋工業経営専門学校設置(1946年廃止) 1944(昭和19)年 名古屋経済専門学校設置 名古屋帝国大学附属医学専門部設置 岡崎高等師範学校設置 1945(昭和20)年 1946(昭和21)年 名古屋帝国大学環境医学研究所設置 1947(昭和22)年 名古屋大学(旧制)と改称 名古屋大学附属医学専門部設置 1948(昭和23)年 名古屋大学文学部、法経学部を設置

#### 新制大学期

1949(昭和24)年 旧制名大、医専部、八高、名経専、岡崎高師を包括 文、教育、法経、理、医、工の6学部及び環境医学研究所で新制名古屋大学として発足 空電研究所、附属図書館を設置 1950(昭和25)年 法経学部を法学部と経済学部に分離 1951(昭和26)年 農学部設置 1953(昭和28)年 文学、教育学、法学、経済学、理学、工学の6研究科を設置 1955(昭和30)年 医学、農学の2研究科を設置 プラズマ研究所設置(1989年廃止、核融合科学研究所へ発展) 1961(昭和36)年 1963(昭和38)年 教養部設置(1993年廃止) 大型計算機センター設置(2002年廃止) 1971(昭和46)年 1973(昭和48)年 水圏科学研究所設置 名古屋大学医療技術短期大学部併設(2001年廃止) 1977(昭和52)年 1990(平成 2)年 空電研究所を太陽地球環境研究所に改組 1991(平成 3)年 大学院国際開発研究科設置 1992(平成 4)年 大学院人間情報学研究科設置(2003年廃止) 1993(平成 5)年 情報文化学部設置 水圏科学研究所を大気水圏科学研究所に改組(2001年廃止) 1995(平成 7)年 大学院多元数理科学研究科設置 1997(平成 9)年 大学院農学研究科を大学院生命農学研究科に改称 1998(平成10)年 大学院国際言語文化研究科設置 2000(平成12)年 大学院教育学研究科を大学院教育発達科学研究科に改称 2001(平成13)年 大学院環境学研究科設置 地球水循環研究センター設置 情報連携基盤センター設置(2009年廃止) 2002(平成14)年 大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称 2003(平成15)年 大学院情報科学研究科設置

#### 国立大学法人期

2004(平成16)年 国立大学法人名古屋大学設立

大学院法学研究科実務法曹養成専攻(法科大学院)設置

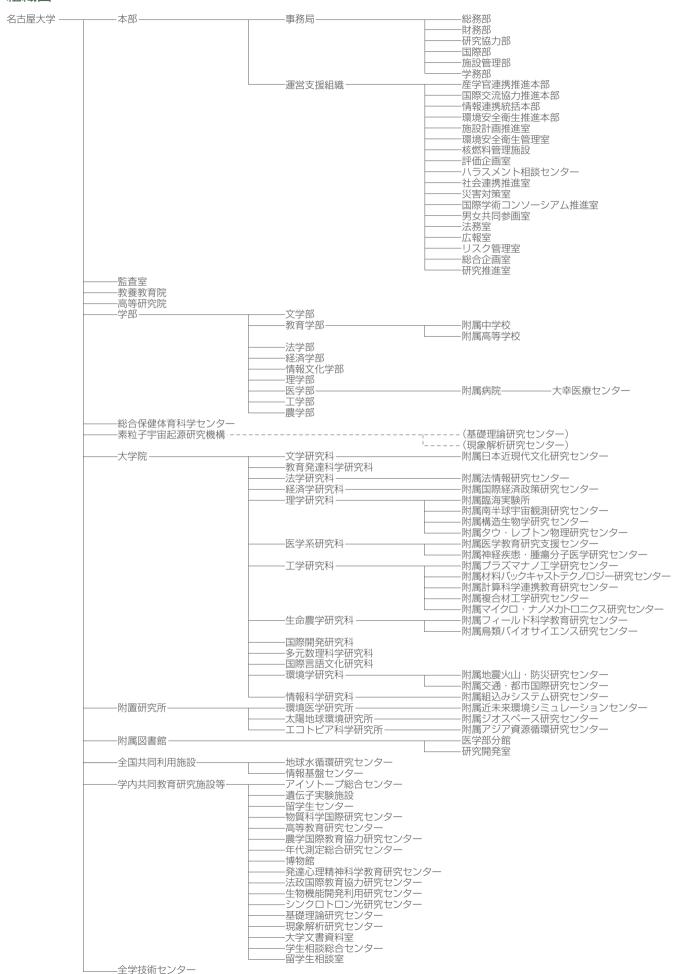
2006(平成18)年エコトピア科学研究所設置2009(平成21)年情報基盤センター設置

#### 歴代総長

	氏名	就任	退任
初代総長	澁澤 元治	昭和14.4.1	昭和21.1.31
2代総長	田村 春吉	昭和21.1.31	昭和24.5.17
(事務取扱)	生源寺 順	昭和24.5.17	昭和24.7.11
3代総長	勝沼 精藏	昭和24.7.11	昭和34.7.10
4代総長	松坂 佐一	昭和34.7.11	昭和38.7.10
5代学長	篠原 卯吉	昭和38.7.11	昭和44.5.20
(事務取扱)	芦田 淳	昭和44.5.20	昭和44.7.22
6代学長	芦田 淳	昭和44.7.22	昭和50.7.21

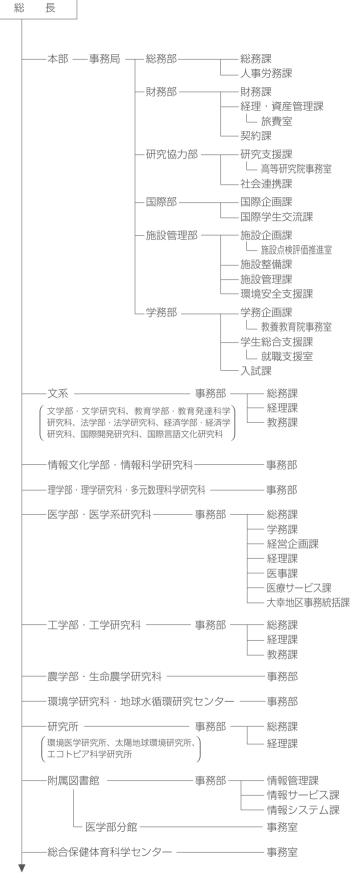
	氏名	就任	退任
7代学長	石塚 直隆	昭和50.7.22	昭和56.7.21
8代学長	飯島 宗一	昭和56.7.22	昭和62.7.21
9代学長	早川 幸男	昭和62.7.22	平成 4.2.5
(事務取扱)	松尾 稔	平成 4.2.5	平成 4.4. 1
10代総長	加藤 延夫	平成 4.4. 1	平成10.3.31
11代総長	松尾 稔	平成10.4.1	平成16.3.31
12代総長	平野 眞一	平成16.4.1	平成21.3.31
13代総長	濵口 道成	平成21.4.1	

#### 組織図



4

#### 事務組織図



1	<b>V</b>	
	素粒子宇宙起源研究機構————	——事務室
	アイソトープ総合センター	事務室
	遺伝子実験施設 ————	事務室
	留学生センター	事務室
	物質科学国際研究センター	事務室
	―― 高等教育研究センター ―――	——事務室
	農学国際教育協力研究センター ――――	——事務室
	年代測定総合研究センター	——事務室
	博物館	——事務室
	―― 発達心理精神科学教育研究センター ―――	——事務室
	―― 法政国際教育協力研究センター ――――	——事務室
	―― 生物機能開発利用研究センター ――――	——事務室
	シンクロトロン光研究センター	——事務室
	一 大学文書資料室	——事務室
	―― 学生相談総合センター	——事務室
	留学生相談室 ————————————————————————————————————	——事務室

### 役員等

総長	濵口	道成	
理事(産学官・社会連携・国際学生交流関係担当)・副総長	宮田	隆司	(学外)
理事(広報・法務・リスク管理・大学間連携関係担当)・副総長	佐分	晴夫	
理事(総務・入試・学生支援関係担当)・副総長	杉山	寛行	
理事(教育·情報関係担当)·副総長	山本	一良	
理事(公正研究・施設設備・環境安全・人権関係担当)・副総長	藤井	良一	
理事(財務·人事労務·事務総括関係担当)·事務局長	高橋	誠	
理事(産学連携関係担当(関東地区担当))	横田	昭↑	(学外)
副総長(病院経営関係担当)	松尾	清一	
副総長(研究·国際企画関係担当)	渡辺	芳人	
副総長(評価・総合企画関係担当)	松下	裕秀	

<b>監</b> 事	青不	輝行	(字外)
監事	浅野	良裕	(学外)
参与	金田	新	(学外)
参与       参与	中村	利雄†	(学外)
参与	山田	直†	(学外)
参与	林	光佑†	(学外)
参与	伊藤	勝基⁺	(学外)
参与	出村	祥雄†	(学外)
参与	片岡	大造†	(学外)

# 経営協議会委員

トヨタ自動車株式会社代表取締役副社長	内山田竹志
学習院大学経済学部教授	奥村 洋彦
中部電力株式会社相談役	川口 文夫
情報・システム研究機構理事	郷 通子
株式会社中日新聞社常務取締役	坂井 克彦
東レ株式会社代表取締役会長	榊原 定征
愛知県立大学長	佐々木雄太
日本ガイシ株式会社代表取締役会長	柴田 昌治
愛知県病院事業庁長(愛知県がんセンター総長)	二村 雄次
東海旅客鉄道株式会社代表取締役副会長	松本 正之
	(五十音順)

学内委員	
総長	濵口 道成
理事	宮田 隆司
理事	佐分 晴夫
理事	杉山 寛行
理事	山本 一良
理事	藤井 良一
理事	高橋 誠
副総長·医学部附属病院長	松尾 清一
副総長	渡辺 芳人
副総長	松下 裕秀

# 教育研究評議会評議員

総長	<b>万川</b> 道成
理事	佐分 晴夫
理事	杉山 寛行
理事	藤井 良一
文学研究科長	羽賀 祥二
教育発達科学研究科長	早川 操
法学研究科長	鮎京 正訓
経済学研究科長	多和田 眞
情報文化学部長	川口 潤
理学研究科長	國枝 秀世
医学系研究科長	祖父江 元
工学研究科長	鈴置 保雄
生命農学研究科長	服部 重昭
国際開発研究科長	成田 克史
多元数理科学研究科長	木村 芳文
国際言語文化研究科長	前野みち子
環境学研究科長	山口 靖
情報科学研究科長	大西 昇
環境医学研究所長	村田 善晴
太陽地球環境研究所長	松見 豊
エコトピア科学研究所長	高井 治
附属図書館長	松浦 好治

医学部附属病院長	松尾清一
総合保健体育科学センター長	池上 康男
文学研究科	町田 健
教育発達科学研究科	金井 篤子
法学研究科	小林 量
経済学研究科	木村 彰吾
理学研究科	松本 邦弘
医学系研究科	榊原 久孝
工学研究科	田中 英一
生命農学研究科	坂神 洋次
国際開発研究科	藤川 清史
多元数理科学研究科	金井 雅彦
国際言語文化研究科	藤井たぎる
環境学研究科	溝口 常俊
情報科学研究科	神保 雅一
教育研究共同施設連合選出	石田 幸男
教育研究共同施設連合選出	巽 和行
教育研究評議会選出	和田 壽弘
教育研究評議会選出	植田 健男
教育研究評議会選出	小野 耕二
教育研究評議会選出	髙橋 雅英

## 総長補佐

産学官連携担当、研究推進担当	馬場 嘉信
産学官連携担当	水野 正明
社会連携·社会貢献担当	家森 信善
法務担当	本間 靖規
創薬科学担当	門松 健治
入試担当	佐久間淳一
教育担当	戸田山和久
施設整備担当	谷口 元
労働安全担当	村田 静昭
研究·教育支援担当	中村 新男

人権(苦情処理)担当	丸山絵美子
男女共同参画担当	束村 博子
人権担当	池田 素子
人事労務担当	市橋 克哉
財務担当	寺﨑 浩子
鶴舞地区担当、評価担当	植村 和正
研究推進担当	松岡 信
国際化拠点整備担当	遠藤斗志也
評価担当	木俣 元一

注 †は非常勤。

### 部局長等

事務局	事務局長	高橋 誠
総務部	総務部長	茶島豊
אבן ללניטויוו	総務課長	倉原 正美
	基金推進主幹	三輪康
	人事労務課長	宮川勉
	福祉主幹	森田 洋子
財務部	財務部長	西川泉
אַן עניניאַ	財務課長	廣岡 信行
	財務調整主幹	加藤博文
	経理・資産管理課長	山口正博
	契約課長	土井 悟
研究協力部	研究協力部長	
1/11/71/1/1/1기 기리기	研究支援課長	
	社会連携課長	鈴木 慰人
国際部	国際部長	勝平宏
国际印	国際企画課長	堀尾 多香
	国際連携主幹	合田由美子
	国際学生交流課長	出口秀典
施設管理部	施設管理部長	奥村 滋夫
肥政旨廷印	施設企画課長	虹釜 幸広
	施設整備課長	
	施設管理課長	吉村 元晴 河地 龍三
	ル設官理謀長 環境安全支援課長	<ul><li>一 刈地 龍二</li><li>伊藤 福正</li></ul>
	環境女王又抜謎校 学務部長	
ナかい	子務部長 学務企画課長	女田 修 丸岡 充
	子務正世謀長 教養教育院事務主幹	高下 一磨
	学生総合支援課長	長尾 義則 田上 降
<b>建</b> 工 拉 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	入試課長	
運営支援組織	産学官連携推進本部長	宮田隆司
	国際交流協力推進本部長	渡辺 芳人
	情報連携統括本部長	山本一良
	情報推進部長	櫻井 清隆
	情報推進課長	浦部 和久
	情報基盤課長	瀬川 午直
	環境安全衛生推進本部長	藤井良一
	施設計画推進室長	谷口元
	環境安全衛生管理室長	村田 静昭
	核燃料管理施設長	榎田 洋一
	評価企画室長	松下裕秀
	ハラスメント相談センター長	石黒洋
	社会連携推進室長	家森 信善
	災害対策室長	鈴木 康弘
	国際学術コンソーシアム推進室長	渡辺 芳人
	男女共同参画室長	東村博子
	法務室長	本間 靖規
	広報室長	渡辺 芳人
	リスク管理室長	佐分 晴夫
	総合企画室長	松下裕秀
	総合企画室主幹	大矢 淳一
/-*中	研究推進室長	松岡信
益査室	監査室長	佐分 晴夫
h 羊 おっ 本 の ロ	監査室主幹	斉藤 肇
文養教育院 	教養教育院長	山本一良
高等研究院	高等研究院長	近藤 孝男
で学研究科・文学部	文学研究科長・文学部長	羽賀 祥二
	附属日本近現代文化研究センター長	齋藤 文俊
対 育発達科学研究科・教育学部	教育発達科学研究科長・教育学部長	早川 操
	附属中学校長	大谷 尚
	附属高等学校長	大谷 尚
法学研究科・法学部	法学研究科長・法学部長	鮎京 正訓
	附属法情報研究センター長	松浦 好治
圣済学研究科・経済学部	経済学研究科長·経済学部長	多和田 眞
	附属国際経済政策研究センター長	金井 雄一
又系事務部	事務部長	服部 幸博
	総務課長	野村 重信
	経理課長	河本 達吾
	教務課長	杉浦 克博
青報文化学部	情報文化学部長	川口 潤
	情報文化学部·情報科学研究科事務長	辻 芳樹
里学研究科・理学部	理学研究科長·理学部長	國枝 秀世
	附属臨海実験所長	澤田 均
	附属南半球宇宙観測研究センター長	福井 康雄
	附属構造生物学研究センター長	前田雄一郎
	附属タウ・レプトン物理研究センター長	國枝 秀世
	理学部・理学研究科・多元数理科学研究科事務長	伊藤 正彦

医学系研究科 · 医学部	医学系研究科長・医学部長	祖父江 元
ATKMININ ATH	附属医学教育研究支援センター長	高橋 雅英
	附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター長	高橋 雅英
	医学部附属病院長	松尾清一
	大幸医療センター長	演嶋 信之
	医学部·医学系研究科事務部長	青山 正晴
	総務課長	川村 篤
	人事労務主幹	桜井 雅憲
	学務課長	西尾直人
	経営企画課長	後藤隆文
	経営分析主幹	永家 清考
	経理課長	杉浦 良幸
	施設管理主幹	祖父江信和
	医事課長	長谷川浩一
	医療サービス課長	中西 達公
	大幸地区事務統括課長	齋藤 勝行
工学研究科・工学部	工学研究科長・工学部長	鈴置 保雄
	附属プラズマナノ工学研究センター長	堀 勝
	附属材料バックキャストテクノロジー研究センター長	石川 孝司
	附属計算科学連携教育研究センター長	美宅 成樹
	附属複合材工学研究センター長	上田 哲彦
	附属マイクロ・ナノメカトロニクス研究センター長	福田 敏男
	工学部·工学研究科事務部長	岡田 秀
	総務課長	藤井 昭彦
	社会連携主幹	山川 明美
	経理課長	引字 勝美
	教務課長	苗島実
<b>上</b> 人曲出IIIかい 曲半や	37(373)211224	
生命農学研究科・農学部	生命農学研究科長・農学部長	服部 重昭
	附属フィールド科学教育研究センター長	柳沼 利信
	附属鳥類バイオサイエンス研究センター長	吉村 崇
	農学部・生命農学研究科事務長	虎澤 千惠
総合保健体育科学センター	総合保健体育科学センター長	池上康男
素粒子宇宙起源研究機構	素粒子宇宙起源研究機構長	益川 敏英
国際開発研究科	国際開発研究科長	成田 克史
多元数理科学研究科	多元数理科学研究科長	木村 芳文
国際言語文化研究科	国際言語文化研究科長	前野みち子
環境学研究科	環境学研究科長	山口 靖
	附属地震火山・防災研究センター長	山岡耕春
	附属交通・都市国際研究センター長	林良嗣
Internal Control	環境学研究科・地球水循環研究センター事務長	谷口哲也
情報科学研究科	情報科学研究科長	大西 昇
	附属組込みシステム研究センター長	高田 広章
環境医学研究所	環境医学研究所長	村田 善晴
	附属近未来環境シミュレーションセンター長	澤田誠
太陽地球環境研究所	太陽地球環境研究所長	松見豊
八吻地外垛坑训九川		
	附属ジオスペース研究センター長	荻野 瀧樹
エコトピア科学研究所	エコトピア科学研究所長	高井 治
	附属アジア資源循環研究センター長	長谷川達也
研究所事務部	事務部長	佐藤 重明
	総務課長	松岡真一郎
	経理課長	
	1	武田 実
附属図書館	附属図書館長	松浦 好治
	医学部分館長	大磯ユタカ
	研究開発室長	松浦 好治
	附属図書館事務部長	栃谷 泰文
	情報管理課長	髙木昭
	情報サービス課長	増田 晃一
	情報システム課長	川添真澄
全国共同利用施設	地球水循環研究センター長	上田 博
	情報基盤センター長	阿草 清滋
学内共同教育研究施設等	アイソトープ総合センター長	本間道夫
コーコンパーコテストロ WIIフレルビロス・寸	遺伝子実験施設長	石浦正寛
	留学生センター長	石田 幸男
	物質科学国際研究センター長	巽 和行
	高等教育研究センター長	木俣 元一
	農学国際教育協力研究センター長	山内章
	年代測定総合研究センター長	中村俊夫
	博物館長	吉田英一
	発達心理精神科学教育研究センター長	森田美弥子
	法政国際教育協力研究センター長	市橋 克哉
	生物機能開発利用研究センター長	松田幹
	シンクロトロン光研究センター長	竹田美和
	基礎理論研究センター長	棚橋 誠治
	現象解析研究センター長	飯嶋 徹
	大学文書資料室長	池内 敏
	学生相談総合センター長	杉山 寛行
	留学牛相談室長	松浦まち子
全学技術センター	留学生相談室長 全学技術センター長	松浦まち子 藤井 良一

### 教養教育院

部局名	設置年月	設置目的
教養教育院	平成13年12月	本学における教養教育及び専門基礎教育の実施について統括するとともに、教育の質を管理する。

### 高等研究院

部局名	設置年月	設置目的
高等研究院	平成14年 4月	本学が将来の知的資産としての価値を認めた独創性の高い学術研究を、文系・理系分野を問わず集中的に推進し、 その成果を全学的な研究活動の活性化に生かすとともに、広く社会に還元する。

#### 平成18年度 高等研究院研究プロジェクト採択者

採択者	所属・職名	プロジェクト名
関 華奈子	太陽地球環境研究所·助教授	比較惑星学的視点の導入による固有磁場強度が地球周辺宇宙環境に与える影響に関する研究

#### 平成19年度 高等研究院研究プロジェクト採択者

採択者	所属・職名	プロジェクト名
貝淵 弘三	大学院医学系研究科·教授	細胞の極性形成を制御する分子機構の解明
篠原 久典	大学院理学研究科·教授	新規ナノカーボン物質の創製、評価と応用
福井 康雄	大学院理学研究科·教授	サブミリ波からテラヘルツ帯に至る宇宙と地球大気の開拓的観測研究
森郁恵	大学院理学研究科·教授	行動基盤となる神経回路の分子生理学
阿波賀邦夫	物質科学国際研究センター・教授	分子磁性体における非線電子物性の開拓

### 平成20年度 高等研究院研究プロジェクト採択者

採択者	所属・職名	プロジェクト名
戸本 誠	大学院理学研究科・准教授	エネルギーフロンティア実験による新素粒子の発見

注 所属・職名は採択当時。

### 学部

学 部		学 科	学科目 <sup>†</sup>
文学部	人文学科		哲学・文明論、歴史学・文化史学、文学・言語学、環境・行動学
教育学部	人間発達科学科		生涯教育科学、学校教育科学、国際教育文化学、心理行動科学、発達臨床科学
法学部	法律・政治学科		基礎実定法学、基礎政治学、現代基礎法学、紛争処理法制、企業経済法制、公共政策、国際関係、法政情報
47:44F	経済学科		理論経済、応用経済
経済学部	経営学科		企業経営、情報会計
# まわった / L 2分が7	自然情報学科		複雑システム、数理情報、環境システム
情報文化学部	社会システム情報学科		環境法経システム、社会地域環境、心理システム、メディア社会
	数理学科		数学
	物理学科		物理学
理学部	化学科		化学
	生命理学科		生物科学
	地球惑星科学科		地球惑星科学
医学科			解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、医動物学、免疫学、法医学、衛生学、公衆衛生学、予防医学、内科学·神経内科学、外科学·胸部外科学、整形外科学、 産婦人科学、眼科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、放射線医学、麻酔学、口腔外科学、脳神経外科学、老年科学、救急医学、臨床検査医学
医学部		看護学専攻	基礎看護学、臨床看護学、発達看護学、地域・在宅看護学
		放射線技術科学専攻	基礎放射線技術学、医用放射線技術学
	保健学科	検査技術科学専攻	基礎検査学、病因・病態検査学
		理学療法学専攻	基礎理学療法学、病態理学療法学
		作業療法学専攻	基礎作業療法学、病態作業療法学
	化学・生物工学科		応用化学、分子化学工学、生物機能工学
	物理工学科		材料工学、応用物理学、量子エネルギー工学
工学部	電気電子・情報工学科		電気電子工学、情報工学
	機械・航空工学科		機械システム工学、電子機械工学、航空宇宙工学
	社会環境工学科		社会資本工学、建築学
	生物環境科学科		生物環境科学
農学部	資源生物科学科		資源生物科学
応用生命科学科			応用生命科学

注 †は情報文化学部にあっては系、医学部保健学科にあっては講座。また、寄附講座を除く。

# 大学院

研究科		専 攻	講座等 <sup>†</sup>
文学研究科	人文学専攻		比較人文学、日本文化学、哲学、言語学、東洋学、日本史学、東洋史学、西洋史学 美術史学・考古学、日本文学・日本語学、西洋文学・西洋語学
教育発達科学研究科	教育科学専攻		生涯発達教育学、学校情報環境学、相関教育科学、高等教育学*、生涯スポート科学*
	心理発達科学専攻		心理社会行動科学、精神発達臨床科学、スポーツ行動科学*
+24111777211	総合法政専攻		基幹法・政治学、現代法システム論、国際・比較法政、アジア法政*
去学研究科	実務法曹養成専攻		基幹法学、応用先端法学
2.44TH411	社会経済システム専攻		市場・制度分析、社会経済分析、政策システム分析、社会環境システム
圣済学研究科	産業経営システム専攻		企業システム、経営革新、情報創造
	*** Z ウウ 特 四 米 * * *		物理学基礎論、宇宙構造論、星間物質学、素粒子物理学、ハドロン物理学、原
	素粒子宇宙物理学専攻		物理学、太陽地球相関理学*、太陽地球系物理学*、太陽地球系化学*
理学研究科	物質理学専攻		相関化学、分子物性学、無機·分析化学、有機·生物化学、物質物理化学、生物理学、物性基礎論、電子物性学、相関物性学、物質科学*
	生命理学専攻		生体構築論、分子遺伝学、機能調節学、形態統御学、情報機構学、超分子機能学生体調節論、生体システム論、環境生物学*、遺伝子解析学*、ゲノム学*、 殖遺伝学*
		分子総合医学専攻	生物化学、微生物·免疫学、病態内科学、高次医用科学、先端応用医学*、実動物科学*
	(F-14-1-1-170)	細胞情報医学専攻	細胞科学、脳神経病態制御学、頭頸部·感覚器外科学、神経科学*、腫瘍病態学 臨床薬物情報学*、高次神経統御学*、器官系機能調節学*、分子・細胞適応学
	(医学博士課程)	機能構築医学専攻	機能形態学、病理病態学、病態外科学、運動·形態外科学、生体管理医学、発生 再生医学*、病態医療学*
		健康社会医学専攻	社会生命科学、発育・加齢医学、周産母子医学*、親と子どもの精神医学*、 合管理医学*、健康増進医学*
医学系研究科		医科学専攻	HINTER 1 / KENNER 1
	(修士課程)	医科学専攻医療行政コース	
		看護学専攻	基礎看護学、臨床看護学、発達看護学
	(博士課程前期課程)	<u>有護子等以</u> 医療技術学専攻	医用量子科学、病態解析学
	( 等上体性別別体性/		理学療法学、作業療法学
		リハビリテーション療法学専攻	
	(1# 1 =PTD/// HD=PTD)	看護学専攻	健康障害看護学、健康発達看護学
	(博士課程後期課程)	医療技術学専攻	医用量子科学、病態解析学
		リハビリテーション療法学専攻	リハビリテーション療法学
	化学・生物工学専攻		先端物理化学、応用有機化学、無機材料・計測化学、物質プロセス工学、化学ステム工学、バイオテクノロジー、バイオマテリアル、エネルギー・環境化学エネルギープロセス・環境材料*
	マテリアル理工学専攻		材料プロセス創成工学、生体機能材料工学、極限構造材料工学、環境調和材料学、情報電子材料工学、材料評価工学、量子物理工学、構造物性物理学、複合物性工学、エネルギー材料工学、量子エネルギーシステム工学、エネルギー軍物性工学、エネルギー安全工学、エコトピア材料工学*、低消費エネルギーディス基礎工学*、エネルギー源材料・リサイクル工学*
	電子情報システム専攻		エネルギーシステム、極限エネルギー科学、集積プロセス、情報デバイス、量デバイス、電子情報通信、コンピュータ工学、数理情報システム、宇宙電磁環工学*、環境調和型電気エネルギーシステム*、電子線応用工学・ナノ電子ディス*、無線通信システム*
工学研究科	機械理工学専攻		先端材料・創製工学、環境・エネルギー工学、生体力学・人間機械工学、マイクロナノ機械システム、メカトロニクス設計、メカトロニクス制御、環境調和機械学*、人間中心設計工学*
	航空宇宙工学専攻		空力・推進、構造・制御、環境熱流体システム*
	社会基盤工学専攻		構造・材料工学、水工学、地盤工学、社会基盤機能学、環境共生・生態システム
	結晶材料工学専攻		ナノ構造デバイス工学、電子物性工学、ナノ固体化学、ナノ構造制御工学*
	エネルギー理工学専攻		エネルギー材料デバイス工学、熱エネルギーシステム工学、エネルギー環境工
	エ不ル十一珪工子専攻		プラズマエネルギー理工学
	量子工学専攻		量子ナノ構造解析学、量子ビーム工学、量子ナノエレクトロニクス
	マイクロ・ナノシステム	工学専攻	バイオ・ロボティクス、集積機械デバイス、マイクロ・ナノ機械科学
	物質制御工学専攻		有機材料設計、材料解析学、無機材料設計
	計算理工学専攻		基盤計算科学、応用計算科学
	生物圏資源学専攻		循環資源学、資源生産生態学、地域資源管理学、生物材料科学、生態システム 全学*
-	生物機構・機能科学専攻		一・
<b>上</b> 命農学研究科	応用分子生命科学専攻		バイオモデリング、生命機能化学、応用生命化学、応用遺伝・生理学
	生命技術科学専攻		生物機能技術科学、生命技術社会システム学、生物生産技術科学*、植物機能発学*、分子細胞機能学*、生命技術国際協力学*
	国際開発専攻		国際開発、開発政策*、経営開発*、教育発達*
	国際協力専攻		国際協力、比較国際法政システム*、国際文化協力*
国際開発研究科	国際コミュニケーション	· *専攻	国際コミュニケーション、言語情報システム、言語教育科学、国際言語文化学
2. 元 数 理 科 学 研 宛 科			コミュニケーション科学 基幹数理、自然数理、社会数理、数理解析、高次位相
多元数理科学研究科	多元数理科学専攻 日本言語文化専攻		基幹效理、自然效理、社会效理、效理解析、高次位相 日本言語文化学、日本語教育学、応用言語学、比較日本文化学、現代日本語学 日本語教育方法論*
国際言語文化研究科			1 1 145 np + X = 7 1 // nm
国際言語文化研究科			多元文化論、先端文化論、南北アメリカ言語文化、東アジア言語文化、ヨーロ

研究科	専 攻	講座等 <sup>†</sup>
地球環境科学専攻 環境学研究科 都市環境学専攻 社会環境学専攻	地球環境科学専攻	地球環境変動論、地球環境システム学、気候科学、物質循環科学、地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、地球惑星ダイナミクス*、地球史学*、放射線・生命環境科学*、地球水循環科学*
	都市環境学専攻	都市持続発展論、環境・安全マネジメント、環境機能物質学、物質環境構造学、 地圏空間環境学、地域・都市マネジメント、建築・環境デザイン、建築構造シス テム
	社会環境学専攻	環境政策論、経済環境論、環境法政論、社会学、心理学、地理学
情報科学研究科	計算機数理科学専攻	情報数理基礎論、情報数理モデル論、計算論
	情報システム学専攻	集積システム論、ソフトウェア論、情報ネットワークシステム論*
	メディア科学専攻	音声映像科学、知能メディア工学、認知情報論、情報メディア空間構成論*
	複雑系科学専攻	多自由度システム情報論、物質情報論、生命情報論、創発システム論、複雑系計算論、情報可視化論*
	社会システム情報学専攻	知識社会システム論、電子社会設計論、情報創造論、情報社会基盤環境論*

注 †は医学系研究科博士課程前期課程・後期課程にあっては教育研究分野。また、寄附講座を除く。 \*は協力講座等。

## 総合保健体育科学センター

部局名	設置年月	設置目的
総合保健体育科学センター	昭和50年 4月	健康・スポーツに関する教育・研究を行うとともに、学生・職員の健康管理、健康増進に関する専門的業務を行う。

## 素粒子宇宙起源研究機構

部局名	設置年月	設置目的		
素粒子宇宙起源研究機構	平成22年 4月	基礎理論研究センターと現象解析研究センターの連携により、素粒子物理学、宇宙物理学の理論及び実験研究、さらには関連する数理物理学や理論計算物理学の研究を結集し、素粒子及び宇宙の起源を解明する。		

### 附置研究所

部局名	設置年月	研究部門↑		
環境医学研究所	昭和21年 3月	ストレス受容・応答、生体適応・防御		
太陽地球環境研究所	平成 2年 6月	大気圏環境、電磁気圏環境、太陽圏環境、総合解析、大気環境変動予測*		
エコトピア科学研究所	平成18年 4月	融合プロジェクト、ナノマテリアル科学、エネルギー科学、環境システム・リサイクル科学、情報・通信科学		

注 †は寄附研究部門を除く。 \*は客員研究部門。

### 全国共同利用施設

部局名	設置年月	設置目的
地球水循環研究センター	平成13年 4月	大気園、水圏、地圏にまたがる水循環システムの課題に集中的に取り組むため、観測とモデルの双方を用いて、国内外の研究者と連携しながら研究を行う。
情報基盤センター	平成21年 4月	高度情報化社会における中核大学としての教育・研究情報基盤環境の高度化を図り、名古屋大学の情報化の推進、学際大規模情報基盤の全国利用・共同研究拠点として日本の計算機科学・計算科学の発展に貢献する。

### 学内共同教育研究施設等

部局名	設置年月	設置目的
アイソトープ総合センター	昭和51年 5月	アイソトープの基礎知識・安全取り扱いに係わる教育訓練、共同利用、アイソトープの利用法・測定法・廃棄物 処理法に関する新技術の研究開発、全学の放射線管理の総括を行う。
遺伝子実験施設	昭和59年 4月	学内における組換え DNA 実験の支援や安全確保、関連する大型機器の共同利用を行う。
留学生センター	平成 5年 4月	外国人留学生に対する日本語教育及び修学上・生活上の相談、海外留学を希望する学生への情報の提供及び指導   助言等を行うとともに、これらに必要な教育教材、研究方法の開発・提供を行う。
物質科学国際研究センター	平成10年 4月	物質創造の基礎的研究の我が国最初の中核的拠点として、先導的な新科学概念のもとに豊かな社会を築く有用な 新物質の探求と創製を行い、地球環境、エネルギー、食料、健康など現代社会が直面している諸問題の解決を目 指す。
高等教育研究センター	平成10年 4月	学部及び大学院における教育・研究活動との連携のもとに、高等教育に関する研究・調査を行い、その質的向上に資する。
農学国際教育協力研究センター	平成11年 4月	開発途上国が直面している農学領域の国際的問題を実践的に解決する人材養成に協力するため、大学が持つ知的・ 人的資源等のデータベースの構築と評価を進め、効率の高いプロジェクトや協力ネットワークを開発し、国際教 育協力を推進する。
年代測定総合研究センター	平成12年 4月	タンデトロン年代測定装置を用いた高精度な <sup>™</sup> C 年代研究と本学で独自に開発した CHIME 年代研究及び関連する 教育と、地球史のあらゆる事象の年代測定による解析を目的とする。
博物館	平成12年 4月	学術標本の収集・研究・保管、本物の学術標本を使った次世代教育と展示の他、大学における異分野交流・学融合の場、大学と社会とのインターフェースとして大学の研究成果を展示・公開する情報発信センター等の役割を担う。
発達心理精神科学教育研究センター	平成13年 4月	発達心理学、臨床心理学、児童精神医学が連携して我が国の重要な課題である子どものこころの問題の解決に多面的に取り組む。
法政国際教育協力研究センター	平成14年 4月	アジアの体制移行国を中心とする国々の方と政治に関する研究、法整備支援ニーズの解析と支援方法の開発、法整備に携わる人的養成のためのプロジェクト等、法整備に関する研究と支援を行う。
生物機能開発利用研究センター	平成15年 4月	高等動植物の生命現象に関わる高次生物機能の解明の研究を発展させるとともに、その成果を有用生物に移植する研究を行うことによって生物系システムの利用に貢献する。
シンクロトロン光研究センター	平成19年 4月	愛知県と中部地区の産業界及び大学が一体となって整備計画中の「中部シンクロトロン光利用施設(仮称)」の設計、整備、運営、研究・実験指導を担当する。
基礎理論研究センター	平成22年 4月	素粒子質量や暗黒物質・エネルギーの起源解明等、素粒子論・宇宙論の研究を行う。その際、専用高速計算機を使った計算物理学の手法を活用する。さらに関連する弦理論やゲージ理論の研究を進め、これらの数理構造を解明する。
現象解析研究センター	平成22年 4月	最先端加速器実験による素粒子質量起源の解明や標準理論を超える現象の発見、宇宙線、宇宙暗黒物質、ニュートリノ等の宇宙と素粒子の融合研究や、ブラックホールの観測・理論研究等による時空構造起源の解明を進める。
大学文書資料室	平成16年 4月	本学における大学文書(半現用の法人文書その他の記録)及び記録史料(本学歴史にかかわる文書その他の記録)の管理・調査研究を行うとともに、本学歴史情報の公開を積極的に推進する。
学生相談総合センター	平成13年 4月	本学における学生相談、留学生相談、メンタルヘルス相談及び就職相談の体制を充実し、豊かな学生生活の実現を図る。
留学生相談室	平成16年 1月	本学の留学生に対する的確な情報の提供及び生活環境の質的改善を図るとともに、地域社会との交流の推進及び地域の国際化に貢献する。

# 技術組織

部局名	設置年月	設置目的			
全学技術センター	平成16年 4月	情報通信、安全管理、装置開発、計測・制御、分析・物質、生物系の技術分野において、研究・教育及び管理運営に対する技術支援を行う。			

### 附属図書館

蔵書数 平成22年4月1日現在

図書館・室名	和書	洋書	合 計
中央図書館	640,969	519,593	1,160,562
医学部分館	103,209	117,179	220,388
文学図書室	175,266	110,183	285,449
教育発達科学図書室(含附属中·高等学校)	96,510	44,756	141,266
法学図書室	131,137	93,244	224,381
経済学図書室(含国際経済政策研究センター)	136,040	123,618	259,658
情報·言語合同図書室	100,137	78,172	178,309
理学図書室	31,627	158,808	190,435
工学図書室	77,139	113,319	190,458
生命農学図書室	51,227	49,248	100,475
国際開発図書室	28,218	31,260	59,478
その他	22,483	38,661	61,144
승 計	1,593,962	1,478,041	3,072,003

雑誌購入受入数 (純タイトル数) 平成22年4月1日現在

外国雑誌	国内雑誌	合 計
1,739種	1,401種	3,140種

# 電子ジャーナル提供数 平成22年4月1日現在

外国雑誌	国内雑誌	合 計
24,552種	532種	25,084種

### 電子ジャーナル利用件数(全文表示件数) 平成21年度

合 計 1,506,395件

#### 閲覧席数

平成22年4月1日現在

図書館・室名	閲覧席数
中央図書館	1,043
医学部分館	289
文学図書室	8
教育発達科学図書室 (含附属中・高等学校)	147
法学図書室	16
経済学図書室(含国際経済政策研究センター)	22
情報·言語合同図書室	12
理学図書室	100
工学図書室	72
生命農学図書室	102
国際開発図書室	8
その他	43
合 計	1,862

#### 利用状況(中央図書館)

平成21年度

閲覧業務			参考調査業務	相互利用業務
入館者数	貸出者数	貸出冊数	取扱件数	取扱件数
763,326	68,559	137,372	3,299	90,827

入館者数(中央図書館)			平成21年度
	平日	休 日	合 計
4月	52,755	7,088	59,843
5月	58,669	11,097	69,766
6月	70,457	9,140	79,597
7月	93,744	23,813	117,557
8月	42,589	14,639	57,228
9月	28,320	7,747	36,067
10月	54,775	7,759	62,534
11月	52,809	7,339	60,148
12月	45,338	6,329	51,667
1月	59,705	17, 122	76,827
2月	48,442	7,585	56,027
3月	31,308	4,757	36,065
合 計	638,911	124,415	763,326

#### 所蔵コレクション一覧

文庫・特殊コレクション	高木家文書、岡田家文書、日比家文書、竹田家文書、神宮皇学館文庫、青木文庫、岡谷文庫、 内田文庫、伊藤圭介文庫、森本文庫、小林文庫、後藤文庫、長谷川文庫、鈴木楯夫文庫、永 井文庫、水田コレクション、瀧川文庫、イギリス革命関係文献コレクション、小川文庫、徳 重文庫、ベックハルト文庫、池野文庫、石井文庫、岡見文庫、ヒルベルト文庫
大型コレクション	ハンサード:英国議会議事録1836-1975、インド立法関係史料集、フランス官報及び議会議事録1869-1968、ホッブズ・コレクション第1期、ホッブズ・コレクション第2期、18-19世紀ヨーロッパ雑誌集成、英国近世初期書籍集成I、チベット仏教全書、英国近世初期書籍集成I、リトルトン卿収集パンフレット集成、フーパッチュ教授旧蔵書、18世紀フランス自由思想家コレクション、ロシア・ソビエト研究資料集、H.P. イブセン博士旧蔵書、英国貴族院日誌・英国議会古記録、ヨーロッパ中世キリスト教神学及び世俗文学研究コレクション、ヨーロッパ教育史・教育理論研究コレクション、言語哲学コレクション、プロイセンの政治・経済・文化、英国貴族院上訴事件判例集1755-1843、18世紀英語・英語圏刊本集成、ドイツ帝国議会連邦参議院議事録

### 医学部附属病院

医療経営管理部	
医療の質・安全管理部	
診療科	血液内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、血管外科、移植外科、消化器外科一、消化器外科二、乳腺・内分泌外科、整形外科、産科婦人科、眼科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、脳神経外科、老年内科、神経内科、呼吸器外科、心臓外科、形成外科、小児外科、総合診療科、リウマチ科、手の外科、親と子どもの心療科
中央診療施設等	検査部、手術部、放射線部、材料部、輸血部、病理部、救急部、集中治療部、在宅管理医療部、血液浄化部、周産母子センター、難治感染症部、中央感染制御部、光学医療診療部、リハビリテーション部、先端医療・臨床研究支援センター、化学療法部、臨床工学技術部、脳卒中医療管理センター、排泄情報センター、メディカル IT センター、卒後臨床研修・キャリア形成支援センター、地域医療センター、栄養管理部
薬剤部	
看護部	
医療技術部	
名古屋大学大幸医療セン	ンター

	平成21年度
病床数	1,035
臨床検査件数	5,798,817
手術件数	8,125
画像検査件数	169,858
分娩件数	416
病理解剖件数	32
メディカルソーシャルワーカーケースワーク取扱件数	12,432

注 手術件数は手術台帳から算出。 病理解剖件数は受託解剖件数2件を含む。 メディカルソーシャルワーカーケースワーク取扱件数は窓口相談を除く延べ件数。

#### 年度別一日平均患者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
外来患者数	1,988	2,062	2,169	2,213	2,290	2,261
入院患者数	844	844	854	839	856	865
名古屋大学大幸医療センター(皮膚科)†	45					
名古屋大学大幸医療センター(内科)	3	1	3	3	3	4

注 十平成16年12月31日で廃止。

### 役員・教職員数

役員等数 平成22年5月1日現在

区	分	男性	女性	合計
総長		1		1
	副総長	5		5
理事	事務局長	1		1
	(非常勤)	1		1
監事	(常勤)	1		1
<b>加尹</b>	(非常勤)	1		1
副総長	₹	⟨3⟩		⟨3⟩
合	計	10		10
	РΙ	(3)		(3)

注〈〉は兼務。

区	分		牧 拐			<b><u></u> </b>			講 的			功 孝			功 手			研究員			J\	
本部 事務局	総務部	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	
T-DP 9-3331-0	財務部																					
	研究協力部 国際部																					H
	施設管理部																					
	学務部	3		3																3		L
運営支援組織	産学官連携推進本部	(1)	(1)	(2)				(2)		(2)	(1)		(1)				(5)	(2)	(7)	(9)	(3)	(1
	国際交流協力推進本部	(2)		(2)		(4)	(4)	(1)	(5)	(6)		(1)	(1)				(1)	(1)	(2)	(4)	(11)	(1
	情報連携統括本部	2		2	2	(4)	2	(1)	(0)	(0)		(1)					(1)	(1)	(2)	4	(11)	
	環境安全衛生推進本部				1		1				(2)		(2)				(1)		(1)	(3)		(
	施設計画推進室				(1)		(1)				(1)		(1)							(2)		(
	評価企画室	1		1								2	2							1	2	
	ハラスメント相談センター																					
	災害対策室										(1)	1	(1)							(1)	1	(
	広報室										(.,		.,							.,		Ė
監査室	総合企画室																					H
<del></del>		1		1				2		2										3		T
高等研究院					(1)	(1)	(2)	(10)		(10)	(2)	(1)	(2)				(1)	(1)	(2)	(3)	(1)	
文学研究科	· 文学邨	30	2	32	15	5	20	1		1	5	2	7				(1)	(1)	(L)	51	9	
	研究科・教育学部	18	2	20	5	(1)	(1)				(1)		(1)							(1)	(1)	_
法学研究科		33	5	38	12	3	15		. 1	. 1					. 1	. 1				45	10	
		21		21	(1)	2	(1)	(5)	(6)	(11)	2	1	3		(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(7)	(9)	
	斗・経済学部	(1)		(1)	1-7		10			_	(1)	L.	(1)							(2)		(
文系事務部 情報文化学部	R																					H
理学研究科		40	1	41	31	2	33	6	1	7	35	5	40	1	3	4				113	12	
生子がしいて	年 テログ	70	13	83	(2)	(1)	(3)	(1)	(1)		(14)	(1)	(15) 68	2		2	(24)	(4)	(28)	(41)	(7) 49	
医学系研究科	斗·医学部	(5)	10	(5)	(11)		(11)	(18)	(1)	(19)	(28)	(15)	(43)				(2)	(3)	(5)	(64)	(19)	(8
医学部附属病	<b></b>	4		4	6	1	7	43	1	44	(42)	(13)	73 (55)							118 (42)	10 (13)	
工学研究科 :	. 丁学邨	111		111	79	1	80	27	1	28	95	6	101							312	8	
エーいしいイ	エユロハ	(4)	1	(4)	(3)	(1)	(4)	(1)		(1)	(5)	6	(5)				(30)	(5)	(35)	(43) 108	(6)	
	:科・農学部	(1)		(1)							(1)	U	(1)				(9)	(4)	(13)	(11)	(4)	(1
国際開発研究 多元数理科学		14 23	4	18 23	21	6 2	14 23	1	1	2	5		5 7		1	1				28 51	11	
国際言語文化		23	2	25	8	13	21				1	1	2			Ċ				32	16	
環境学研究和	4	(3)		49 (3)	45 (3)	(4)	48 (7)	3	1	4	16	(3)	18 (4)				(11)	(2)	(13)	113	(9)	
情報科学研究	2科	33	1	34	23	2	25				12	2	14							68	5	
		9	1	10	(1)	1	(1)				(2)		(2)				(19)	(1)	(20)	(22)	(1)	
総合保健体育	育科学センター				(1)		(1)				_									(1)		(
環境医学研究	門	6	1	7	6		6				7	3	10				(1)	(1)	(2)	19 (1)	(1)	
太陽地球環境		8		8	7	1	8				10		10							25	1	
		21	1	22	14	2	16	1		1	(1)		(1)				(6)	(1)	(7)	(7) 46	(1)	
エコトピア科		(1)		(1)	(1)	(1)	(2)	(1)		(1)	(3)		(3)				(1)		(1)	(7)	(1)	
研究所事務部 附属図書館	K .																					$\vdash$
	研究センター	4		4			3				3		3				(=)	(=)	(=)	10	(=)	
		4		4	(1)		(1)				(1)	2	(1)				(6)	(2)	(8)	(8)	(2)	
情報基盤セン	/ター																(2)		(2)	(2)		(
アイソトーフ	プ総合センター	1		1	1		1	2		2	(1)		(1)							(1)		(
遺伝子実験が	施設	2		2	1		1				2		2				/		(-)	5		
		3	2	5	3	4	7	1		1							(1)		(1)	(1)	6	(
留学生センタ	<i>y</i> —					(1)	(1)														(1)	(
物質科学国際	祭研究センター	4		4	(1)		(1)				9		9							15 (1)		(
高等教育研究		1		1	2	_	2					1	1							3	1	
	協力研究センター 合研究センター	2		2	1	1	2				1		1							3	1	
博物館		1		1	2	1	3					1	1							3	2	
発達心理精神科等	学教育研究センター	1	1	2	(1)	2	(1)					(1)	(1)					(2)	(2)	(1)	(3)	
去政国際教育協	協力研究センター				2	1	3					(1)						(2)	(=)	2	1	
生物機能開発和	利用研究センター	6		6	4	2	6				1		1				(6)	(5)	(11)	(6)	(5)	
シンクロトロ゛	/光研究センター	1		1			1				/		/->				(3)	(3)	,	2	(3)	Ė
		1		1	(1)		(1)				(1)	1	(1)							(2)	1	1
基礎理論研究					(1)		(1)													(1)	L'	1
現象解析研究 学生相談総合		1		1	2		2				(1)	(1)	(2)							(1)	(1)	-
全学技術セン	ノター										(1)	(1)	(=)									
社会貢献人村 予防早期医療	オ育成本部 関制成センター	(1)	(1)	(1)		(1)	(1)										(10)	(7)	(17)	(11)	(8)	
7的手期达 合		597			425	75	500	102	9	111	365	69	434	3	5	8				1,492	195	
	計	(19)	(2)	(21)	(35)	(15)	(50)	(39)	(13)	(52)	(110)	(36)	(1/16)		(1)	(1)	(137)	((13)	(1gn)	(340)	(110)	

平成22年5月1日現在

F-7	<i>A</i>	附属	学校	教員	事務職	員·技	術職員	1	合 言	+
区	分		女性		男性	女性	計	男性	女性	1
	総務部				44	15	59	44	15	Ę
	財務部 研究協力部				37 11	3 6	40 17	37 11	3	
	国際部				10	10	20	10	10	2
	施設管理部				33	5	38	33	5	3
	学務部				23	9	32	23	9	3
運営支援組織	産学官連携推進本部							(9)	(3)	(12
	国際交流協力推進本部							(0)	1	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				7.4	0	17	(4)	(11)	(15
4	情報連携統括本部				14	3	17	(3)	3	(3
]	環境安全衛生推進本部							1		(
j	施設計画推進室							(2)		(2
İ	評価企画室					(1)	(1)	1	(1)	(
	(ラスメント相談センター					(1)	(1)		(1)	(
	災害対策室					.,	(.,		1	
					(1)		(1)	(1)		(
	広報室 総合企画室				(1)	3	(1)	(1)	3	(
監査室	WO II II III I				4	- 0	4	4	0	
教養教育院								3		
								(3)	(1)	(10
高等研究院	L 114 4-9							(16) 51	(2)	(18
文学研究科・								(1)	(1)	(2
教育発達科学研?	究科·教育学部	22	15	37				47	22	(
法学研究科・	法学部							(7)	(9)	(16
«∇:★£47π-+-1·	<b>⟨∇∵Φ≥≤</b> +⊓							41	3	- 4
経済学研究科	・ 栓消字部							(2)		('
文系事務部					25	33	58	25	33	
情報文化学部	TITI 134 4-2				12 25	24	16 49	12	36	1.
理学研究科・	埋字部							(41)	(7)	(48
医学系研究科	<ul><li>医学部</li></ul>				93	51	144	276	100	3
					101	(3)	(4) 623	(65) 219	(22)	(8
医学部附属病	院				(54)	(425)	(479)	(96)	(438)	(53
工学研究科・	T 学部				31	38	69	343	46	38
	77-110				10	17	-00	(43)	(6)	(49
生命農学研究	科・農学部				16	17	33	124	28 (4)	15
国際開発研究	科							28	11	3
多元数理科学								51	3	- [
国際言語文化	研究科				0		15	32	16	7.0
環境学研究科					9	6	15	122	12 (9)	(2
情報科学研究	F2I							68	5	-
IFFXY4-JUI JU	T-4							(22)	(1)	(23
総合保健体育	科学センター				1	5	6	(1)	7	(
TOTAL STATE OF THE								19	4	2
環境医学研究	PlT							(1)	(1)	(2
太陽地球環境	研究所							25	1	2
								(7) 46	(1)	(8
エコトピア科!	学研究所							(7)	(1)	(8
研究所事務部					15	5	20	15	5	í
附属図書館					11	17	28	11	17	
地球水循環研	究センター							(8)	(2)	(10
情報基盤セン	<b>ター</b>							8	2	1
intxeemi C/								(2)		(2
アイソトープ	総合センター							(1)		(
遺伝子実験施	<u>□</u>							5		
セム 丁夫 釈他	DΧ							(1)	_	(
留学生センタ	_							7	(1)	(
### FF 1 \ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	TT0/04-> · ←							15	(1)	(
物質科学国際								(1)		(
高等教育研究					_			3	1	
農学国際教育協; 年代測定総合								3	1	
博物館								3	2	
発達心理精神科学	数音研究センター							2	4	
								(1)	(3)	(4
法政国際教育協:								11	2	-
生物機能開発利息	田研究センター							(6)	(5)	(1
シンクロトロン	光研究センター							2		
								(2)	1	('
基礎理論研究	センター							(1)	1	(
現象解析研究								3		
学生相談総合	センター							(1)	(1)	('
全学技術セン					137	23	160	(11)	23	(10
社会貢献人材 <sup>®</sup> 予防早期医療								(11)	(8)	(19
	計	22	15	37	657	799	1,456	2,171	1,009	
合						(430)				

### 学部等学生数

平成22年5月1日現在

区 分		学部学生		科	目等履修:	生		聴講生			研究生等		É	) 計	-
E 7	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
文学部 <sup>†</sup>	215	383	598	7	5	12	7	4	11	17	23	40	246	415	661
教育学部 <sup>†</sup>	80	247	327	1	1	2	3	5	8	3	22	25	87	275	362
法学部  †	439	250	689	4	1	5				9	12	21	452	263	715
経済学部  †	576	346	922		1	1				5	10	15	581	357	938
情報文化学部 <sup>†</sup>	226	122	348							8	16	24	234	138	372
理学部	956	241	1,197	3	2	5				5	2	7	964	245	1,209
医学部*†	755	764	1,519	1		1				42	20	62	798	784	1,582
工学部 <sup>†</sup>	3,037	312	3,349		1	1				31	21	52	3,068	334	3,402
農学部	400	351	751		1	1				3	2	5	403	354	757
総合保健体育科学センター										1	1	2	1	1	2
環境医学研究所										1	1	2	1	1	2
地球水循環研究センター										1		1	1		1
留学生センター										21	28	49	21	28	49
숨 計	6,684	3,016	9,700	16	12	28	10	9	19	147	158	305	6,857	3,195	10,052

注 \*は第2年次編入学を行っている学部。

#### 大学院学生数

平成22年5月1日現在

			博	±		果	程			左	学博士語	810	市田	10000000000000000000000000000000000000	=B #P	T	开究生等	5	合		≣†
区 分	È	前期課程		後期課程		1	小計			上除工员	村王	専門職学位課程		沐仁	训九工寺		F			51	
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
文学研究科	60	75	135	77	88	165	137	163	300							8	5	13	145	168	313
教育発達科学研究科	35	79	114	60	65	125	95	144	239							9	21	30	104	165	269
法学研究科	59	34	93	32	33	65	91	67	158				115	105	220	72	60	132	278	232	510
経済学研究科†	60	45	105	35	18	53	95	63	158							9	2	11	104	65	169
理学研究科	300	66	366	147	41	188	447	107	554							5	4	9	452	111	563
医学系研究科 †	76	88	164	23	44	67	99	132	231	463	194	657				14	22	36	576	348	924
工学研究科↑	1,194	83	1,277	294	41	335	1,488	124	1,612							29	5	34	1,517	129	1,646
生命農学研究科	200	130	330	77	34	111	277	164	441							9	4	13	286	168	454
国際開発研究科	58	83	141	68	64	132	126	147	273							10	20	30	136	167	303
多元数理科学研究科	116	3	119	37	2	39	153	5	158							3		3	156	5	161
国際言語文化研究科†	28	97	125	25	78	103	53	175	228							8	44	52	61	219	280
環境学研究科	251	103	354	128	66	194	379	169	548							9	4	13	388	173	561
情報科学研究科	251	22	273	78	24	102	329	46	375							21	5	26	350	51	401
人間情報学研究科		1	1		1	1		2	2											2	2
合 計	2,688	909	3,597	1,081	599	1,680	3,769	1,508	5,277	463	194	657	115	105	220	206	196	402	4,553	2,003	6,556

注 †は社会人特別選抜を実施している研究科。

### 教育学部附属学校生徒数

平成22年5月1日現在

			1 /30CC 1 0/ 3 1 CI 36 CC
区 分	入学定員	学級数	生徒数
中学校	80	6	238
高等学校	120	9	358
合 計	200	15	596

### 単位互換制度に基づく交流学生数

平成21年度

	協定締結校				3	<b>交流学生数</b>	女					
			派	遣			受 入					
本学大学院	他大学大学院	修	±	博	±	修士			博	±		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	通年	前期	後期		
√∇` <del>\</del> Φ₩ΤΠρησ1\	名古屋市立大学大学院経済学研究科		1					1				
経済学研究科	名城大学大学院経営学研究科	15	2	2		2						
	名古屋工業大学大学院工学研究科					4			1			
工学研究科	名古屋市立大学大学院薬学研究科					3						
	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科					4						
	合 計	15	3	2		13		1	1			

注 前期・後期は学期。

<sup>\* 16</sup>年2年八編八子を17 J といる子前。 十は第3年次編入学を行っている学部。 留学生センターの研究生等は日本語研修生28名及び日本語・日本文化研修生20名を含む。 上記学生の他に愛知学長懇話会による単位互換履修生(特別聴講学生)45(男子26、女子19)名が在学。

医学系研究科博士課程前期課程は修士課程を含む。

### 学部入学状況

平成22年4月1日現在

 区 分	募集人員	志願者数		入学者数			
	夯朱八貝	心隙自奴	男子	女子	計		
文学部	125	353 (14)	49	85 (3)	134 (3)		
教育学部	65	216 (4)	23	48 (1)	71 (1)		
法学部	150	439 (16)	100	57	157		
経済学部	205	725 (54)	145 (5)	77 (4)	222 (9)		
情報文化学部	75	268 (8)	52 (1)	25 (1)	77 (2)		
理学部	270	707 (19)	232	50	282		
医学部	307	892 (2)	151	167	318		
工学部	740	2,125 (77)	726 (18)	79 (8)	805 (26)		
農学部	170	524 (10)	113	72 (1)	185 (1)		
合 計	2,107	6,249 (204)	1,591 (24)	660 (18)	2,251 (42)		

注 ( )は外国人留学生を示し、内数。

### 大学院入学状況

平成22年4月1日現在

		博士課程	前期	課程·	修士	課程			1	博士課程	多期 課	程・[	医学博	士 課	程	
区 分	入学定員	十四五土米上			入学	者数			入学定員				入・進	学者数		
	八子止貝	志願者数	男	子	女	子	1	H	八子止貝	志願者数	男	子	女	子	1	ł
文学研究科	60	125	23		33	(16)	56	(16)	30	46	10	(3)	16	(5)	26	(8)
教育発達科学研究科	54	101	11	(3)	34	(7)	45	(10)	31	64	16	(1)	19	(4)	35	(5)
法学研究科	35	56	18	(11)	10	(8)	28	(19)	17	18	5	(5)	7	(4)	12	(9)
<b>法子</b> 妍	70	526	36		29		65									
経済学研究科	44	87	33	(3)	27	(24)	60	(27)	22	13	5	(2)	4	(3)	9	(5)
理学研究科	175	324	150	(3)	43	(3)	193	(6)	73	61	46	(2)	12	(2)	58	(4)
医学系研究科	78	115	35		40	(1)	75	(1)	178	194	114		61	(6)	175	(6)
工学研究科	500	862	572	(30)	50	(16)	622	(46)	145	84	71	(12)	3	(3)	74	(15)
生命農学研究科	145	300	105	(2)	80	(5)	185	(7)	45	38	27	(3)	9	(2)	36	(5)
国際開発研究科	64	196	31	(15)	34	(19)	65	(34)	32	48	14	(9)	11	(7)	25	(16)
多元数理科学研究科	47	140	47		2		49		30	16	8				8	
国際言語文化研究科	48	125	9	(1)	39	(17)	48	(18)	24	40	4	(3)	18	(9)	22	(12)
環境学研究科	137	280	117	(15)	37	(10)	154	(25)	64	57	28	(5)	15	(3)	43	(8)
情報科学研究科	126	214	121	(13)	3	(1)	124	(14)	35	24	15	(5)	5	(2)	20	(7)
合 計	1,583	3,451	1,308	(96)	461	(127)	1,769	(223)	726	703	363	(50)	180	(50)	543	(100)

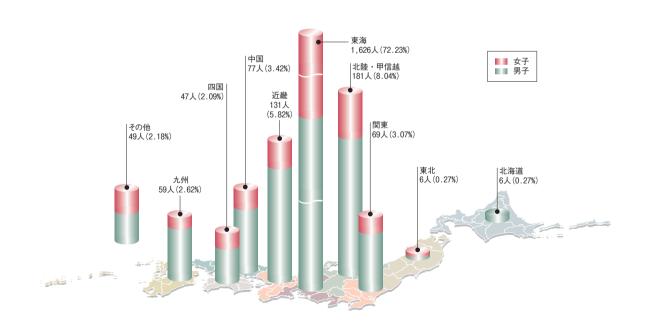
注 ( ) は外国人留学生を示し、内数。 法学研究科の下段は専門職学位課程(法科大学院)。 平成21年10月入学の M1・D1及び M1・D1に原級留置されている学生は除く。

### 出身高等学校所在都道府県別入学者状況(学部)

平成22年4月1日現在

				学 音	3 学生		
区	分	男	子	5			計
	海道	6	(0.38%)			6	(0.27%)
	青森県			1		1	
	岩手県	1				1	
ホル	宮城県	2				2	
東北	秋田県			1		1	
	山形県						
	福島県			1		1	
	計	3	(0.19%)	3	(0.45%)	6	(0.27%)
	茨城県	7		5		12	
	栃木県	4		1		5	
	群馬県	4				4	
関東	埼玉県	9		1		10	
	千葉県	5		4		9	
	東京都	16		1		17	
	神奈川県	9		3		12	
	計	54	(3.39%)	15	(2.27%)	69	(3.07%)
	新潟県	3		3		6	
	富山県	19		12		31	
北陸·	石川県	28		8		36	
甲信越	福井県	36		12		48	
	山梨県	6		2		8	
	長野県	36		16		52	
	計	128	(8.05%)	53	(8.03%)	181	(8.04%)
	岐阜県	161		87		248	
±./-	静岡県	88		33		121	
東海	愛知県	802		329		1,131	
	三重県	76		50		126	
	計	1,127	(70.84%)	499	(75.61%)	1,626	(72.23%)

					· ·		
区	分			学 部			
	//	男	子	女	子		計
	滋賀県	23		3		26	
	京都府	12		4		16	
\E 486	大阪府	19		3		22	
近畿	兵庫県	31		8		39	
	奈良県	10		2		12	
	和歌山県	11		5		16	
	計	106	(6.66%)	25	(3.79%)	131	(5.82%)
	鳥取県	10		7		17	
	島根県	7		4		11	
中国	岡山県	19		1		20	
	広島県	17		5		22	
	山口県	6		1		7	
	計	59	(3.71%)	18	(2.73%)	77	(3.42%)
	徳島県	9		12		21	
me	香川県	8				8	
四国	愛媛県	15		2		17	
	高知県			1		1	
	計	32	(2.01%)	15	(2.27%)	47	(2.09%)
	福岡県	9		1		10	
	佐賀県	1				1	
	長崎県	11		1		12	
	熊本県	3		1		4	
九州	大分県	6		3		9	
	宮崎県	6		3		9	
	鹿児島県	8				8	
	沖縄県	4		2		6	
	計	48	(3.02%)	11	(1.67%)	59	(2.62%)
	高卒認定	2		1		3	
その他	高専						
	外国	26		20		46	
	計	28	(1.76%)	21	(3.18%)	49	(2.18%)
合	計	1,591		660		2,251	



### 学部入学者選抜の概要

#### 平成23年度入学者選抜方式・実施期日

本学では、一般入試及び推薦入試等により学生を募集します。 一般入試は、分離・分割方式(前期日程・後期日程)により、下記の通り実施します。

方 式	分離 ・ 分	割方式
日 程	前 期 日 程	後期日程
試験実施学部等	全 学 部	医学部医学科
試験実施日	平成23年2月25日(金).26日(土)	平成23年3月12日(土)

#### 募集人員

	—般	入試	推薦入試	帰国子女入試	社会人入試	合	計
	前期日程	後期日程	推馬八武	州国丁女八武	社五八八武		ΒI
文学部	110		15				125
教育学部	50		15				65
法学部	100		45	5			150
経済学部	165		40				205
情報文化学部	55		16		4		75
理学部	210		60				270
医学部	216	5	86				307
工学部	666		74				740
農学部	136		34				170
合 計	1,708	5	385	5	4		2,107

#### 入学者選抜方法

入学者の選抜は、主に大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書により総合的に行います。 詳細については、下記アドレスより「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照願います。 http://www.nagoya-u.ac.jp/admission/guide/pamphlet/

### 大学院入学者選抜の概要

区 分 文学研究科 教育発達科学研究科 法学研究科	課 程 博士前期 博士前期 博士前期 博士前期 博士前期(教育科学専攻のみ) 博士後期 博士前期 (外国人留学生・・・国際法政コースのみ) 博士前期 (外国人留学生) 博士前期 (外国人留学生)	出願時期 8月中旬 1月上旬 1月上旬 8月下旬 11月下旬~12月初旬 11月下旬~11月中旬 9月上旬 9月上旬	<ul><li>筆記・口述試験時期</li><li>9月下旬</li><li>2月中旬</li><li>2月中旬</li><li>9月下旬</li><li>1月中旬</li><li>2月中旬</li><li>9月下旬、10月上旬</li></ul>	<b>筆記</b> ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	論文又は口述	選抜の有無	選抜の有無
<b>教育発達科学研究科</b>	博士前期 博士後期 博士前期 博士前期 (教育科学専攻のみ) 博士後期 博士前期 (外国人留学生…国際法政コースのみ) 博士前期 (外国人留学生) 博士前期 (10月入学)	1月上旬 1月上旬 8月下旬 11月下旬~12月初旬 1月上旬~1月中旬 9月上旬	2月中旬 2月中旬 9月下旬 1月中旬 2月中旬	0 -			
牧育発達科学研究科	博士後期 博士前期 博士前期 (教育科学専攻のみ) 博士後期 博士前期 (外国人留学生・・国際法政コースのみ) 博士前期 (外国人留学生) 博士前期 (10月入学)	1月上旬 8月下旬 11月下旬~12月初旬 1月上旬~1月中旬 9月上旬 9月上旬	2月中旬 9月下旬 1月中旬 2月中旬	_		0	
文育発達科学研究科	博士後期 博士前期 博士前期 (教育科学専攻のみ) 博士後期 博士前期 (外国人留学生・・国際法政コースのみ) 博士前期 (外国人留学生) 博士前期 (10月入学)	1月上旬 8月下旬 11月下旬~12月初旬 1月上旬~1月中旬 9月上旬 9月上旬	2月中旬 9月下旬 1月中旬 2月中旬	-	0	0	0
	博士前期 博士前期(教育科学専攻のみ) 博士後期 博士前期 (外国人留学生・・国際法政コースのみ) 博士前期(外国人留学生・・ 博士前期(外国人留学生)	8月下旬 11月下旬~12月初旬 1月上旬~1月中旬 9月上旬 9月上旬	9月下旬 1月中旬 2月中旬	0	0	0	0
	博士前期(教育科学専攻のみ) 博士後期 博士前期 博士前期 (外国人留学生・・国際法政コースのみ) 博士前期(外国人留学生) 博士前期(10月入学)	11月下旬~12月初旬 1月上旬~1月中旬 9月上旬 9月上旬	1月中旬 2月中旬				
	博士後期 博士前期 博士前期 (外国人留学生…国際法政コースのみ) 博士前期(外国人留学生) 博士前期(10月入学)	1月上旬~1月中旬 9月上旬 9月上旬	2月中旬		0	0	
学研究科	博士前期 博士前期 (外国人留学生…国際法政コースのみ) 博士前期(外国人留学生) 博士前期(10月入学)	9月上旬 9月上旬		0	0	0	_
学研究科	博士前期 (外国人留学生…国際法政コースのみ) 博士前期(外国人留学生) 博士前期(10月入学)	9月上旬	9月下旬、10月上旬	0	0	0	_
学研究科	博士前期 (外国人留学生…国際法政コースのみ) 博士前期(外国人留学生) 博士前期(10月入学)	9月上旬	3U I.D' 10UTD	Ö	Ö		_
与学研究科	(外国人留学生…国際法政コースのみ) 博士前期(外国人留学生) 博士前期(10月入学)			0	0		
学研究科	博士前期(10月入学)	18 6	10月上旬	_	0	_	0
长学研究科		1月上旬	2月上旬	(国際法政コースは	0	_	0
去学研究科		1月上旬	2月中旬	筆記試験なし)	0	_	0
<b>法学研究科</b>	(国費外国人留学生…国際法政コースのみ)	1/3118	2/74-0				
43 1010011	博士後期	1月上旬	2月上旬	0	0	_	_
	博士後期(職業人特別選抜)	1月上旬	2月上旬	0	0	0	_
		1月上旬			0		_
	博士後期(法科大学院修了者特別選抜)博士後期(外国人留学生)	1月上旬	2月上旬 2月上旬	<ul><li>○</li><li>(国際法政コースは</li></ul>	0	_	0
	博士後期(10月入学)			筆記試験なし)	_		
	(国費外国人留学生…国際法政コースのみ)	1月上旬	2月中旬	_	0	_	0
	専門職	10月下旬	11月下旬	0	_	_	_
	博士前期	8月中旬	9月上旬、9月下旬	0	0	_	_
	博士前期(社会人)	8月中旬	9月上旬、9月下旬	0	0	0	_
	博士前期(外国人留学生)	1月上旬	1月下旬、2月中旬	Ö	Ö	_	0
E済学研究科	博士前期(二次)	1月上旬	1月下旬、2月中旬	0	0	_	_
ᄱᄀᄢᄺᆟ	博士前期(社会人二次)	1月上旬	1月下旬、2月中旬	0	0	0	_
	博士後期(高度専門人)	11月上旬	1月下旬、2月中旬	Ö	Ö		_
				_			
	博士後期	1月上旬	1月下旬、2月中旬	0	0	_	_
	博士後期(外国人留学生)	1月上旬	1月下旬、2月中旬	0	0	_	0
	博士前期(素粒子·物質物理系) (自己推薦)	6月下旬~7月初旬	7月中旬~7月下旬	_	0	Δ	_
		8月上旬	8月下旬			_	_
	博士前期(素粒子·物質物理系)			0	0		
学研究科	博士前期(物質化学系 A)	6月下旬~7月初旬	7月下旬	_	0	_	_
	博士前期(物質化学系 B)	6月下旬~7月初旬	8月下旬	0	0	_	_
	博士前期(生命理学 A)	6月下旬~7月初旬	8月上旬	_	0	_	_
	博士前期(生命理学 B)	6月下旬~7月初旬	9月初旬	0	Ö	_	_
	博士後期	1月下旬	2月中旬	_	0	_	_
	医学博士	第1回 7月上旬	8月中旬	0	_	_	_
	医学博士	第2回 12月下旬	1月中旬	Ö	_	_	
				_			
学系研究科	修士(医学系専攻)	7月下旬	8月下旬	0	0	_	_
	博士前期	7月下旬	8月下旬	0	0	0	_
	博士後期	7月下旬	8月下旬	0	Ō	0	_
	1号上1次州		0/3 [.6]		0	0	
	博士前期	6月中旬※	8月下旬	0		_	_
		7月中旬		※は一部免除あり			
	博士前期(外国人留学生)	10月下旬	11月下旬			_	(##DID88##-W)
	L-M- 1 (6 11m						(特別選抜の
学研究科	博士後期	7月中旬	8月下旬	0	0	0	_
	博士後期(10月入学)	7月中旬(入学年度)	8月下旬(入学年度)			0	_
				_	_		0
	博士後期(外国人留学生)	10月下旬	11月下旬	0	0	_	(特別選抜の
	130 1 77 130 710 7 350 7						(付別選扱の
	博士後期(補欠募集)	1月中旬	2月中旬に専攻毎に実施	0	0	0	_
	博士前期	7月中旬~7月下旬	8月下旬~9月上旬	0	0		0
		(外国人留学生特別 1月上旬)	(外国人留学生特別 2月中旬)	0			(留学生に限る
E命農学研究科	博士後期	1月上旬	2月中旬	免除される場合あり	0	0	_
	博士後期(10月入学)	7月中旬~7月下旬	9月上旬	<ul><li>○ 免除される場合あり</li></ul>	0	0	_
	博士前期	8月中旬	9月中旬	0	0	_	
	博士前期(外国人留学生)	1月下旬	2月初旬	0	0	_	0
際開発研究科	博士後期	1月初旬			0		(特別選抜の
	博士後期(10月入学)	6月下旬(入学年度)	2月初旬 7月下旬(入学年度)		0	Δ	
	(国際開発専攻・国際協力専攻)	い」「印(八子十長)	//31:四(八子牛皮)				
	博士前期(昼夜開講コース)	7月初旬~7月中旬	7月下旬	0	-	0	_
	博士前期	7月初旬~7月中旬	7月下旬	Ö	_	_	_
二米が囲む片ができ	博士後期(22年10月入学)	7月初旬~7月中旬	7月下旬	_	0		配慮する
元数理科学研究科		7月初旬~7月中旬	7月下旬	0	0	_	_
元数理科学研究科	博士後期(夏期募集)	1月中旬~1月下旬	2月中旬~2月下旬	_	0	_	_
元数理科学研究科	博士後期(夏期募集) 博士後期(冬期募集)		9月下中旬	0	Ö	0	_
元数理科学研究科	博士後期 (冬期募集)						
	博士後期(冬期募集) 博士前期	8月中旬~8月下旬		0	0	0	_
	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(Ⅱ期募集)		2月中旬				
	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(II 期募集) (国際多元文化専攻)	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬				0	_
	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(Ⅱ期募集) (国際多元文化專攻) 博士後期	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬	2月中旬	0		$\triangle$	
	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(II 期募集) (国際多元文化専攻)	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬		0	0		
	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(Ⅱ期募集) (国際多元文化專攻) 博士後期	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬	2月中旬	0	0	Δ	Δ
	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(II期募集) (国際多元文化専攻) 博士後期 博士前期I期	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬 7月中旬~7月下旬	2月中旬 8月上旬~8月下旬	○ (一部コースのみ)	○ (一部コースのみ) ○	Δ	
国際言語文化研究科	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(Ⅱ期募集) (国際多元文化専攻) 博士後期 博士前期Ⅰ期 博士前期Ⅰ期	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬 7月中旬~7月下旬 1月中旬	2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)		Δ
]際言語文化研究科	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(II期募集) (国際多元文化専攻) 博士後期 博士前期I期 博士前期I期 博士前期(秋入学)	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬 7月中旬~7月下旬 1月中旬 前年度1月中旬 7月中旬~7月下旬	2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 前年度2月上旬~2月中旬 8月上旬~8月下旬	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	Δ	Δ Ο Δ
3 元数理科学研究科 国際言語文化研究科 環境学研究科	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(II期募集) (国際多元文化専攻) 博士後期 博士前期I期 博士前期I期 博士前期II利	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬 7月中旬~7月下旬 1月中旬 前年度1月中旬	2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 前年度2月上旬~2月中旬	○ (一部コースのみ) (一部コースのみ) (一部コースのみ) (一部コースのみ)	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	Δ	0
国際言語文化研究科	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(II期募集) (国際多元文化専攻) 博士後期 博士前期I期 博士前期I期 博士前期(秋入学)	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬 7月中旬~7月下旬 1月中旬 前年度1月中旬 7月中旬~7月下旬	2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 前年度2月上旬~2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 8月上旬~8月下旬(入学年度)	○ (一部コースのみ) (一部コースのみ) (一部コースのみ) (一部コースのみ)	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	Δ	О О
国際言語文化研究科	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(I期募集) (国際多元文化専攻) 博士後期 博士前期 I 期 博士前期 I 期 博士前期 I 則 博士前期 I 則	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬 7月中旬~7月下旬 1月中旬 前年度1月中旬 7月中旬~7月下旬	2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 前年度2月上旬~2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 8月上旬~8月下旬(入学年度) 7月中旬(口述)、	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	Δ Δ	О О А
際言語文化研究科	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(II期募集) (国際多元文化専攻) 博士後期 博士前期I期 博士前期I期 博士前期(秋入学) 博士後期I期 博士後期I期 博士後期(秋入学) 博士後期(秋入学)	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬 7月中旬~7月下旬 1月中旬 前年度1月中旬 7月中旬~7月下旬 1月中旬 7月中旬~7月下旬(人学年度) 6月中旬、7月中旬	2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 前年度2月上旬~2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 8月上旬~8月下旬(人学年度) 7月中旬(口述)、 8月中旬(年記・口頭)	(一部コースのみ) (一部コースのみ) (一部コースのみ) (一部コースのみ) (一部コースのみ)	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	Δ Δ Ο	Δ Ο Δ Δ
際言語文化研究科	博士後期(冬期募集) 博士前期 博士前期(II期募集) (国際多元文化専攻) 博士後期 博士前期I期 博士前期I期 博士前期(秋入学) 博士後期I期 博士後期I期 博士後期(秋入学)	8月中旬~8月下旬 1月中旬~1月下旬 1月中旬~1月下旬 7月中旬~7月下旬 1月中旬 前年度1月中旬 7月中旬~7月下旬 1月中旬 7月中旬~7月下旬(入学年度)	2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 前年度2月上旬~2月中旬 8月上旬~8月下旬 2月上旬~2月中旬 8月上旬~8月下旬(入学年度) 7月中旬(口述)、	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ) ○ (一部コースのみ)	Δ Δ Δ	Δ Ο Δ Δ

注 △は専攻により実施することがある。 課程において入学月がないものは4月入学。

### 学部卒業者数

区 分		平成21年度		累計	旧制
	男子	女子	計	糸司	الشاتا
文学部	45	94 (2)	139 ( 2)	7,059	185
教育学部	19	61 (2)	80 (2)	3,317	
法学部	89 ( 1)	76 ( 1)	165 ( 2)	8,555	228
経済学部	135 ( 3)	79 (3)	214 (6)	11,263	310
情報文化学部	59	33	92	1,223	
理学部	203	55	258	10,810	349
医学部(医学科)	88	19	107	5,359	1,437
医学部 (保健学科)	58	165	223	1,949	
工学部	695 (11)	52 (1)	747 (12)	32,719	1,643
農学部	97	82 (3)	179 ( 3)	7,677	
合 計	1,488 (15)	716 (12)	2,204 (27)	89,931	4,152

注 ( )は外国人留学生を示し、内数。 旧制卒業者は名古屋帝国大学創設(昭和14年)以降の累計。

### 学位授与者数

		MT					博	±				
		修	士			課	程			論	文	
区 分		平成21年度		累計		平成21年	度	累計		平成21	年度	累計
	男子	女子	計	糸品	男子	女子	計	糸司	男子	女子	計	糸司
文学研究科	18 ( 3)	39 (11)	57 (1	4) 1,8	5 4	7 (2)	11 (2) 〈 7〉	269	1	1	2 〈 1〉	140
教育発達科学研究科	19 ( 2)	35 (10)	54 (1	2) 1,0	6 6	7 (1)	13 ( 1) 〈 6〉	134	1	3	4 〈 2〉	116
法学研究科	22 (18)	18 (15)	40 (3	3) 93	3 4 ( 1)	2 ( 2)	6 (3) (1)	56				51
経済学研究科	22 ( 2)	9 (3)	31 (	5) 8	1 4	4 ( 2)	8 (2) (1)	192				88
理学研究科	131 ( 2)	38	169 (	2) 5,1	4 24 (1)	6	30 (1) (4)	1,460	2		2 〈 2〉	811
医学系研究科	46 ( 5)	54 ( 9)	100 (1	4) 60	6 90 (3)	46 (9)	136 (12) 〈 66〉	2,554	20	6	26 〈 6〉	3,320
工学研究科	554 (24)	22 ( 2)	576 (2	6) 18,8	9 78 (15)	5 ( 3)	83 (18) 〈 13〉	2,391	10		10 〈 1〉	1,718
生命農学研究科	93 (3)	36	129 (	3) 3,79	6 19 (5)	7 (3)	26 (8) 〈 7〉	1,032	4	1	5 < 1>	518
国際開発研究科	32 (17)	45 (18)	77 (3	5) 1,14	9 7 (2)	9 (5)	16 ( 7) 〈 8〉	231				16
多元数理科学研究科	38	2	40	48	0 11		11	42				8
国際言語文化研究科	14 ( 7)	27 (15)	41 (2	2) 5	0 3	4 ( 2)	7 (2) 〈 4〉	85				20
環境学研究科	101 (7)	45 (13)	146 (2	0) 1,04	7 20 (3)	9 (3)	29 ( 6) 〈 9〉	200	6		6 〈 5〉	47
情報科学研究科	101 (7)	12 ( 2)	113 (	9) 7	1 15 ( 5)	3	18 (5) (5)	79	3		3 〈 2〉	7
人間情報学研究科				78	2	1	1 〈 1〉	146				22
合 計	1,191 (97)	382 (98)	1,573 (19	5) 37,9	9 285 (35)	110 (32)	395 (67) <132>	8,871	47	11	58 〈20〉	6,882

		博合	士計				旧制		
区分		平成21年原	芰	EE E.L		平成21年度		EH E-L	旧制
	男子	女子	計	累計	男子	女子	計	累計	
文学研究科	5	8 (2)	13 ( 2) 〈 8〉	409					6
教育発達科学研究科	7	10 (1)	17 ( 1) 〈 8〉	250					
法学研究科	4 (1)	2 ( 2)	6 (3) (1)	107	48	35	83	337	9
経済学研究科	4	4 (2)	8 (2) (1)	280					12
理学研究科	26 (1)	6	32 (1) 〈6〉	2,271					223
医学系研究科	110 (3)	52 (9)	162 (12) 〈72〉	5,874					3,615
工学研究科	88 (15)	5 (3)	93 (18) <14>	4,109					211
生命農学研究科	23 ( 5)	8 (3)	31 (8) (8)	1,550					
国際開発研究科	7 (2)	9 (5)	16 ( 7) 〈 8〉	247					
多元数理科学研究科	11		11	50					
国際言語文化研究科	3	4 ( 2)	7 (2) 〈4〉	105					
環境学研究科	26 (3)	9 (3)	35 ( 6) <14>	247					
情報科学研究科	18 ( 5)	3	21 (5) (7)	86					
人間情報学研究科		1	1 〈 1〉	168					
合 計	332 (35)	121 (32)	453 (67) (152)	15,753	48	35	83	337	4,076

注 ( ) は外国人留学生を示し、内数。なお、博士については、大学院博士課程後期課程在籍時に外国人留学生であった者を計上。 〈 〉は博士課程後期課程を満期退学後に学位を取得した者を示し、内数。 旧制学位は名古屋医科大学設置(昭和6年)以降の累計。

### 学部卒業後の状況

平成22年5月1日現在

区分	進与	(大学	完)		就 職			その他		台	i	+
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
文学部	11	17	28	29	69	98	5	8	13	45	94	139
教育学部	3	9	12	13	43	56	3	9	12	19	61	80
法学部	20	14	34	51	49	100	18	13	31	89	76	165
経済学部	14	5	19	102	63	165	19	11	30	135	79	214
情報文化学部	22	2	24	30	28	58	7	3	10	59	33	92
理学部	143	37	180	39	16	55	21	2	23	203	55	258
医学部 (医学科)		- 1					88	19	107	88	19	107
医学部 (保健学科)	17	10	27	39	153	192	2	2	4	58	165	223
工学部	611	36	647	58	13	71	26	3	29	695	52	747
農学部	82	57	139	13	20	33	2	5	7	97	82	179
合 計	923	187	1,110	374	454	828	191	75	266	1,488	716	2,204



## 就職者の産業別就職状況

平成22年5月1日現在

区 分		文学部			教育学部			法学部			経済学部		情	報文化学部	ß
区分	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
農業・林業		i												1	1
建設業		1	1					2	2					2	2
製造業	6	7	13	1	8	9	9	10	19	28	10	38	3	5	8
電気・ガス・熱供給・水道業	1		1				4	4	8	3	1	4	1		1
情報通信業	7	2	9		4	4	6	3	9	5	4	9	9	13	22
運輸業·郵便業	1	1	2		2	2	2	3	5	3	2	5			
卸売・小売業	3	9	12		3	3		2	2	8	2	10		2	2
金融·保険業	1	12	13	2	3	5	9	3	12	27	27	54	4	1	5
不動産業					1	1								- 1	
学術研究・専門技術サービス業							3	2	5	4	4	8			
宿泊業、飲食サービス業					1	1								- 1	
生活関連サービス業・娯楽業	1	2	3		1	1		2	2	1	1	2	2		2
教育·学習支援業	2	15	17	1	6	7		4	4	5	1	6	3	2	5
医療·福祉					5	5								1	1
複合サービス事業		i		1		1		2	2						
サービス業	1	2	3								1	1	1	- 1	1
公務	6	18	24	7	7	14	18	10	28	16	10	26	6	1	7
その他				1	2	3		2	2	2		2	1		1
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	29	69	98	13	43	56	51	49	100	102	63	165	30	28	58

		理学部		医学部	<b>『(保健学</b>	料)		工学部			農学部		台	i ii	r
区 分	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
農業・林業											1	1		2	2
建設業							5	1	6				5	6	11
製造業	6	7	13				29	4	33	4	7	11	86	58	144
電気・ガス・熱供給・水道業	1		1		1	1	2	1	3				12	7	19
情報通信業	3	1	4				6	1	7	1	1	2	37	29	66
運輸業·郵便業	1		1		1	1		1	1	1	1	2	8	11	19
卸売・小売業							1		1	2	3	5	14	21	35
金融·保険業	4	2	6	1		1	2	1	3	1		1	51	49	100
不動産業	1		1							1		1	2	1	3
学術研究・専門技術サービス業							2		2		2	2	9	8	17
宿泊業、飲食サービス業														1	1
生活関連サービス業・娯楽業													4	6	10
教育·学習支援業	13	2	15	1	1	2	1		1	1	1	2	27	32	59
医療·福祉				26	120	146							26	126	152
複合サービス事業		1	1				2		2				3	3	6
サービス業		1	1				1		1				3	4	7
公務	8	1	9	11	30	41	7	4	11	2	4	6	81	85	166
その他	2	1	3										6	5	11
合 計	39	16	55	39	153	192	58	13	71	13	20	33	374	454	828

### 大学院博士課程前期課程・修士課程修了後の状況

平成22年5月1日現在

																			1 7-30-	<del>+</del> 0/1	
		修了者			進学者				教	員				以外の専		70	つ他の職	**		その他	
区 分		16 ] 日			连于日			大 学		7	大学以外	-	· ±	技術的贈	業	- 20	ノルマン和	未		COUR	
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	子 女子 計		男子	女子	計	男子	女子	計
文学研究科	18	39	57	8	12	20				1	6	7	1	3	4	5	8	13	3	10	13
教育発達科学研究科	19	35	54	6	11	17	1	1	2	2	2	4	1	3	4	7	9	16	2	9	11
法学研究科	22	18	40	6	5	11								1	1	2	1	3	14	11	25
経済学研究科	22	9	31	3	1	4					1	1				17	7	24	2	- 1	2
理学研究科	131	38	169	49	11	60					2	2	64	14	78	10	8	18	8	3	11
医学系研究科	46	54	100	7	7	14		5	5	2		2	23	28	51	7	4	11	7	10	17
工学研究科	554	22	576	51	3	54	1		1				453	17	470	37	1	38	12	1	13
生命農学研究科	93	36	129	20	4	24				1	1	2	45	18	63	23	10	33	4	3	7
国際開発研究科	32	45	77	8	8	16				1	4	5		2	2	8	12	20	15	19	34
多元数理科学研究科	38	2	40	7		7				3		3	12	2	14	7		7	9		9
国際言語文化研究科	14	27	41	3	10	13										4	10	14	7	7	14
環境学研究科	101	45	146	17	11	28				3		3	52	16	68	16	9	25	13	9	22
情報科学研究科	101	12	113	8	1	9							82	6	88	8	4	12	3	1	4
合 計	1,191	382	1,573	193	84	277	2	6	8	13	16	29	733	110	843	151	83	234	99	83	182

### 大学院博士課程後期課程・医学博士課程修了後の状況

平成22年5月1日現在

																			1 13000	+0/1	
- ·		修了者・単位等 認定による退学者								教員以外の専門的 ・技術的職業		その	他の暗	裁業	特別	研究員	等に	大学	院研究:	生等	
区 分	認定は	こよる定	学者		大 学		7	大学以外	<b>†</b>	• 1.	文例的暗	扶美					採用				
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
文学研究科	18	21	39	1	1	2	2		2					2	2	2	3	5		1	1
教育発達科学研究科	14	15	29	2	3	5	1		1		3	3	7	1	8				1	3	4
法学研究科	5	5	10	1		1													1	3	4
経済学研究科	6	5	11	1	2	3		1	1	1		1	2		2				1		1
理学研究科	35	10	45	2		2	1	1	2	9	3	12	6	1	7	5	2	7	1		1
医学系研究科	119	36	155	7	3	10	1		1	90	22	112				7	3	10	6	1	7
工学研究科	80	8	88	9		9		1	1	16	2	18	29		29	4	1	5	1		1
生命農学研究科	20	7	27	1		1				3	2	5	1		1	1		1	1	1	2
国際開発研究科	13	5	18	1		1				1		1	4		4					1	1
多元数理科学研究科	16		16	3		3	1		1				1		1	3		3			
国際言語文化研究科	9	16	25		1	1		1	1				3		3	1		1		1	1
環境学研究科	24	13	37	2	3	5	1		1	7	2	9	2	1	3	3	3	6			
情報科学研究科	21	3	24	3		3				6		6		2	2						
合 計	380	144	524	33	13	46	7	4	11	133	34	167	55	7	62	26	12	38	12	11	23

区 分	外国	へ研究	留学	帰国	した留	学生		その他	
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
文学研究科				1	1	2	12	13	25
教育発達科学研究科							3	5	8
法学研究科				1	2	3	2		2
経済学研究科							1	2	3
理学研究科							11	3	14
医学系研究科	1	2	3	1		1	6	5	11
工学研究科				5	2	7	16	2	18
生命農学研究科				3	2	5	10	2	12
国際開発研究科				4	2	6	3	2	5
多元数理科学研究科							8		8
国際言語文化研究科				1	2	3	4	11	15
環境学研究科				3	1	4	6	3	9
情報科学研究科				1		1	11	1	12
合 計	1	2	3	20	12	32	93	49	142

### ノーベル化学賞受賞者

### 2001(平成13)年

氏 名	受賞対象研究	備考
野依 良治	キラル触媒による不斉水素化反応の研究	大学院理学研究科教授(受賞時)

### 2008(平成20)年

氏 名	受賞対象研究	備	考
下村 脩	緑色蛍光たんぱく質 GFP の発見と開発	理学博士 (名古屋大学)、	元理学部助教授

### ノーベル物理学賞受賞者

### 2008(平成20)年

氏 名	受賞対象研究	備考
小林 誠	クォークが自然界に少なくとも三世代以上ある事を予言する、対称性の破れの起源の発見	理学博士(名古屋大学)
益川 敏英	クォークが自然界に少なくとも三世代以上ある事を予言する、対称性の破れの起源の発見	理学博士(名古屋大学)、元理学部助手

## 文化勲章受章者

所 属(在籍時)	氏 名	専 門	決定年月
医学部·総長	勝沼 精藏	血液学·航空医学	昭和29年11月
医学部	久野 寧	生理学	昭和38年11月
医学部	高橋 信次	放射線医学	昭和59年11月
大学院理学研究科	野依 良治	反応有機化学	平成12年11月
理学部	中西 香爾	有機化学	平成19年11月
理学部	伊藤 清	数学	平成20年11月
大学院理学研究科	小林 誠	素粒子物理学	平成20年11月
理学部	下村 脩	海洋生物学	平成20年11月
理学部	益川 敏英	素粒子物理学	平成20年11月

## 文化功労者

所 属(在籍時)	氏 名	専 門	決定年月
医学部·総長	勝沼 精藏	血液学·航空医学	昭和29年11月
工学部·総長	澁澤 元治	電気工学	昭和30年11月
理学部	柴田 雄次	無機化学	昭和37年11月
医学部	久野 寧	生理学	昭和38年11月
医学部	高橋 信次	放射線医学	昭和54年11月
理学部	平田 義正	天然物化学	平成 2年11月
理学部	森重文	数学	平成 2年11月
大学院理学研究科	野依 良治	有機化学	平成10年11月
理学部	中西 香爾	有機化学	平成11年11月
農学部	岸 義人	天然物有機化学	平成13年11月
大学院理学研究科	小林 誠	素粒子物理学	平成13年11月
経済学部	塩野谷祐一	経済哲学	平成14年11月
理学部	益川 敏英	素粒子物理学	平成13年11月
理学部	伊藤 清	数学	平成15年11月
大学院工学研究科	赤﨑 勇	半導体電子工学	平成16年11月
大学院理学研究科	竹市 雅俊	発生生物学	平成16年11月
理学部	下村 脩	海洋生物学	平成20年11月
遺伝子実験施設	杉浦 昌弘	植物分子生物学・植物ゲノム科学	平成21年11月

### 日本学士院賞受賞者

### 恩賜賞

授賞年	氏 名	所 属(在籍時)	授賞対象研究			
昭和 2年 第17回	柴田 雄次	理学部	金属錯塩の分光化学的研究			
昭和16年 第31回	久野 寧	医学部	人体発汗の研究			
昭和25年 第40回	坂田 昌一	理学部	二中間子理論			
昭和26年 第41回	外山 修之	工学部	油脂殊に海産動物油に関する研究			
昭和31年 第46回	志方 益三	農学部	ポーラログラフィーの研究			
昭和35年 第50回	山崎 一雄	理学部	醍醐寺五重塔の壁画			
昭和42年 第57回	吉田 耕作	理学部	近代解析の研究			
昭和45年 第60回	中村 榮孝	文学部	日鮮関係史の研究			
昭和52年 第67回	高橋 信次	医学部	X線による生体病理解剖の研究			
昭和53年 第68回	伊藤 清	理学部	確率微分方程式の研究			
平成 2年 第80回	中西 香爾	理学部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究			
平成11年 第89回	岸 義人	農学部	海洋天然化合物の有機化学的研究			

#### 日本学士院賞

授賞	:年	氏	名	所 属(在籍時)	授賞対象研究		
大正15年	第16回	勝沼	精藏	医学部・総長	オキシダーゼの組織学的研究		
昭和 2年	第23回↑	小口	忠太	医学部	小口氏病の研究		
昭和25年	第40回	名倉	重雄	医学部	所謂骨端炎の研究		
昭和29年	第44回	中山	正	理学部	環論及び表現論に関する研究		
昭和29年	第44回	小野	勝次	理学部	継電器式電気統計計算機の研究		
昭和32年	第47回	野田	稲吉	工学部	合成雲母に関する研究		
昭和33年	第48回	松村	博司	文学部	栄花物語の研究		
昭和33年	第48回	菅原	健	理学部	水による物質移動循環機構の地球化学的研究		
昭和38年	第53回	関口都	<b></b>	工学部	鋼の溶接棒ならびに炭酸ガス酸素アーク溶接法に関する研究		
昭和41年	第56回	鵜高	重三	農学部	醱酵によるアミノ酸類の生成に関する研究		
昭和43年	第58回	宮川	正澄	医学部	無菌動物の研究		
昭和45年	第60回	中村	榮孝	文学部	日鮮関係史の研究		
昭和51年	第66回	山本	時男	理学部	魚類の性分化の遺伝学的・発生生理学的研究		
昭和52年	第67回	高橋	信次	医学部	X線による生体病理解剖の研究		
昭和52年	第67回	平田	義正	理学部	微量天然有機物質の研究		
昭和52年	第67回	香川	毓美	工学部	高分子電解質の研究(共同研究)		
昭和52年	第67回	永澤	満	工学部	高分子電解質の研究(共同研究)		
昭和53年	第68回	伊藤	清	理学部	確率微分方程式の研究		
昭和55年	第70回	阿閉	吉男	文学部	ジンメル社会学の方法		
昭和57年	第72回	八木	國夫	医学部	フラビン酵素に関する研究		
平成 2年	第80回	中西	香爾	理学部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究		
平成 2年	第80回	森	重文	理学部	代数多様体の分類理論の研究		
平成 3年	第81回	塩野谷		経済学部	価値理念の構造一効用対権利一		
平成 3年	第81回	早川	幸男	理学部・学長	宇宙放射線の研究		
平成 4年	第82回	大澤	省三	理学部	例外的遺伝暗号の発見とその進化学的意義の解明		
平成 4年	第82回	石崎	宏矩	理学部	カイコ脳神経ペプチドに関する化学的・分子生物学的研究(共同研究)		
平成 6年	第84回	井村	徹	工学部	金属塑性変形の超高電圧電子顕微鏡その場観察による研究(共同研究)		
平成 7年	第85回	野依	良治	理学部	不斉合成反応に関する研究		
平成 8年	第86回	竹市	雅俊	大学院理学研究科	動物細胞の接着因子カドヘリンの発見とその接着機構に関する研究		
平成 9年	第87回	山寺	秀雄	理学部	金属錯体の分光学における山寺則の創始と配位構造の研究		
平成11年	第89回	岸	義人	農学部	海洋天然化合物の有機化学的研究		
平成14年	第92回	佐藤	彰一	大学院文学研究科	修道院と農民一会計文書から見た中世形成期ロワール地方一		
平成19年	第97回	山本	冶	大学院工学研究科	有機典型元素化合物の高配位能を活用した化学反応性と物性の開拓(共同研究		
平成20年	第98回	永井	美之	医学部	パラミクソウイルス病原性の分子基盤の解明と新規発現ベクターの創出		
平成21年	第99回	安藤	隆穂	大学院経済学研究科	フランス自由主義の成立―公共圏の思想史		

注 †は東宮御成婚記念賞受賞。

## グローバル COE プログラム

#### 平成19年度~平成23年度

分 野	拠点リーダー	所属・職名	拠点のプログラム名称
生命科学	近藤 孝男	大学院理学研究科·教授	システム生命科学の展開:生命機能の設計
化学、材料科学	渡辺 芳人	物質科学国際研究センター・教授	分子性機能物質科学の国際教育研究拠点形成
人文科学	佐藤 彰一	大学院文学研究科·教授	テクスト布置の解釈学的研究と教育

#### 平成20年度~平成24年度

分 野	拠点リーダー	所属・職名	拠点のプログラム名称
医学系	祖父江 元	大学院医学系研究科·教授	機能分子医学への神経疾患・腫瘍の融合拠点
数学、物理学、地球科学	杉山 直	大学院理学研究科・教授	宇宙基礎原理の探求-素粒子から太陽系、宇宙に至る 包括的理解-
機械、土木、建築、その他工学	福田 敏男	大学院工学研究科·教授	マイクロ・ナノメカトロニクス教育研究拠点

#### 平成21年度~平成25年度

分 野	拠点リーダー	所属・職名	拠点のプログラム名称
学際、複合、新領域	安成 哲三	地球水循環研究センター・教授	地球学から基礎・臨床環境学への展開

### 国際化拠点整備事業(グローバル30)

事業名称	取扱担当部局	採択年度
名古屋大学国際化拠点整備事業	全学	平成21年度

#### GP

#### 新たな社会人ニーズに対応した学生支援プログラム

採択取組名称等	取組担当部局	採択年度
潜在的支援力を結集した支援メッシュの構築	全学	平成19年度

#### 国際化拠点整備事業一長期海外留学支援一

採択取組名称等	取組担当部局	採択年度
名古屋大学長期留学支援プログラム	全学	平成19年度
名古屋大学長期留学支援プログラム	全学	平成20年度

#### 大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成

採択取組名称等	取組担当部局	採択年度
東海若手医師キャリア支援プログラム	医学部附属病院	平成20年度

#### がんプロフェッショナル養成プラン

採択取組名称等	取組担当部局	採択年度
臓器横断的がん診療を担う人材養成プラン	大学院医学系研究科	平成19年度

#### 産学連携による実践型人材育成事業―長期インターンシップ・プログラム開発―

採択取組名称等	取組担当部局	採択年度
研究開発リーダーを育てる派遣型実践教育	大学院工学研究科	平成18年度

注 平成20年度以前は受託事業で、平成21年度以降は補助金事業。

#### 大学病院における医師等の勤務環境改善のための人員の雇用

	採択取組名称等	取組担当部局	採択年度
	名古屋大学病院業務改善推進事業	医学部附属病院	平成22年度

平成22年7月1日現在

### 科学技術振興調整費

### 平成18年度~平成22年度

プログラム名	研究課題名	部 局 名	研究代表者等・職名
重要課題解決型研究等の推進	伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術の開発	大学院工学研究科	辻本 哲郎·教授
若手研究者の自立的研究環境整備促進	名大高等研究院研究者育成特別プログラム	高等研究院	総括責任者·総長
重要課題解決型研究等の推進	アスベスト関連疾患への総括的取り組み	大学院医学系研究科	豊國 伸哉·教授

#### 平成20年度~平成24年度

プログラム名	研究課題名	部 局 名	研究代表者等・職名
イノベーション創出若手研究人材養成	社会貢献若手人材育成プログラム	社会貢献人材育成本部	総括責任者・総長
戦略的環境リーダー育成拠点形成	名古屋大学国際環境人材育成拠点形成	大学院環境学研究科	総括責任者・総長

#### 平成21年度~平成23年度

プログラム名	研究課題名	部局名	研究代表者等・職名
国際共同研究の推進	東アフリカ稲作振興のための課題解決型研究	農学国際教育協力研究センター	浅沼 修一·教授
国際共同研究の推進	自然放射線被ばく研究ネットワークの構築	大学院工学研究科	山澤 弘実・教授

#### 平成22年度~平成26年度

プログラム名	研究課題名	部 局 名	研究代表者等・職名
女性研究者養成システム改革加速	名古屋大学方式 女性研究者採用加速・育成プログラム	男女共同参画室	総括責任者・総長

### 教職員の国際交流・留学生交流

教職員の海	与外渡航状況		平成21年度
	項	目	人 数
	個別研究		266
	共同研究	306	
	セミナー・研究集	1,872	
渡航目的別	講演・討論		175
/反型1日印かり	視察・調査		594
	研修		58
	表敬訪問等その他		278
		合 計	3,549
	総長・理事・副総	Ę	27
	教授		1,495
	准教授		840
	講師		185
	助教		428
職名·職種	助手		6
	外国人教師·外国	人研究員	14
	教諭		2
	その他教育系職員	432	
	事務職員·技術職	Ę	120
		合 計	3,549
	名古屋大学		551
		国際化拠点整備事業 (グローバル30)	145
		受託事業 (直接・間接)	132
	1 +051111 (1) 00 05	受託研究(直接・間接)	353
	文部科学省関係	科学技術振興調整費(直接·間接)	44
		科学研究費補助金(直接·間接)	1,143
		研究拠点形成費補助金	186
		その他の文部科学省関係	111
渡航経費別		日本学術振興会(JSPS)	91
		科学技術振興機構 (JST)	9
	政府関係機関	国際協力機構(JICA)	22
	(文部科学省以外)	外務省	2
		文部科学省、外務省以外の官庁	16
		その他の政府関係機関	59

合 計 注 教職員数は国ごとにカウントした延べ人数(1回の海外渡航で2か国訪問した 場合は2人とカウント)。

422

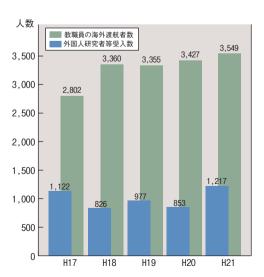
116 147

3,549

#### 教職員の海外渡航者数・外国人研究者等受入数の推移

民間資金(国内) 寄附金等

外国政府・研究機関及び国際機関



#### 外国人研究者等の受入状況

/ I I I / (P/I / L	11139277777		平成	21年度
	項	<b>B</b>	人	数
	外国人研究員			59
	外国人共同研究員			181
双 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	外国人研修員			162
受入種別	研究集会等参加者			378
	外国人来訪者			437
		合 計		1,217
	名古屋大学			103
		研究拠点形成費補助金		92
	文部科学省関係	科学研究費補助金		85
		その他の文部科学省関係		28
		日本学術振興会(JSPS)		68
	Th (7) 188 (7) 188 88	科学技術振興機構 (JST)		3
受入経費別	政府関係機関 (文部科学省以外)	外国人受託研修員(JICA)		25
	(人即付于自以/1)	中国政府派遣研究員		2
		その他(政府関係資金)		138
	民間資金(寄附金等	)		36
	本人が所属する大学	・機関		540
	私費			97
		合 計		1,217

**給費別留学生数** 平成22年5月1日現在

															JUI - 1 - 7 .	
区分	文	教育	法	経済	情報文化	理	医	I	農	国際開発	多元数理科学	国際言語文化	環境学	情報科学	留学生センター	合計
国費留学生	15	5	49	15		5	19	56	12	50		25	25	16	38	330
外国政府派遣留学生				1				45						1		47
私費留学生	105	62	91	86	23	47	61	255	31	105	2	114	84	49	9	1,124
	120	67	140	102	23	52	80	356	43	155	2	139	109	66	47	1,501

受入区分別留学生数

平成22年5月1日現在

× 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															1 /	50LL   07.	J. 11-2011
区分	<del>ं</del> गे	文	教育	法	経済	情報文化	理	医	I	農	国際開発	多元数理科学	国際言語文化	環境学	情報科学	留学生センター	合計
大学院学生	前期	28	20	43	41		9	10	80	11	73	1	51	53	29		449
人子阮子生	後期	34	17	24	20		28	55	98	22	59	1	52	41	31		482
+ 学院性のコープ	前 期			19													19
大学院特別コース	後期			14				5	20					11			50
学部学生		17	9	7	21	2	3	2	95	6							162
III oto #	大学院	3	1	6	5		3	6	10	2	20		29	4	5		94
研究生	学部等	26	18	7	5	21	4		34	2							117
杜川藤謙尚井	大学院	1		4			3		3		3		6		1		21
特別聴講学生	学 部	9	2	14	10		2		11								48
特別研究学生		2		2				2	5				1				12
日本語研修生																28	28
日本語·日本文化研	修生															19	19
合 譚	t	120	67	140	102	23	52	80	356	43	155	2	139	109	66	47	1,501

学生の海外留学者数

平成21年度

区 分	7	Ż	孝育	竹	122	去	<b>新</b>	文 主 文 刊	情報文化	Į	里	2	Ē		Ε	5		国際開発	多元数理科学	国際言語文化	環境学	情報科学		合計	
	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	研究科	研究科	研究科	研究科	研究科	学部	研究科	計
インドネシア							1																1		1
英国		2			1				1			2	1	2				1	1				6	5	11
エジプト												1											1		1
オーストラリア	5		1	1	2		2		1					2	4	1				1			14	6	20
オーストリア												1											1		1
オランダ															1									1	1
カナダ	1	1		1					1					2	3						1	1	4	7	11
韓国			3		3		2		2	1					2								11	2	13
スイス																		1						1	1
スウェーデン					1										1								1	1	2
タイ						1																		1	1
中国		3	1															1		1			1	5	6
デンマーク			1		1																		2		2
トーゴ									1														1		1
ドイツ	1			1		1					1	2	1		3					2			3	9	12
ブラジル			1				1																2		2
フランス	3	2			1										3			2		1			4	8	12
米国	4		5	1			1				1	14		2	9	1		4		1	3	1	27	20	47
ベトナム									1														1		1
ベネズエラ																		1						1	1
ベルギー		1																						1	1
ポーランド												1											1		1
マレーシア				1																				1	1
合 計	14	9	12	5	9	2	7	0	7	1	2	21	2	8	26	2	0	10	1	6	4	2	81	69	150

合計
 14
 9
 12
 5
 9
 2
 7
 0
 7
 1
 2
 21
 2
 8
 26
 2

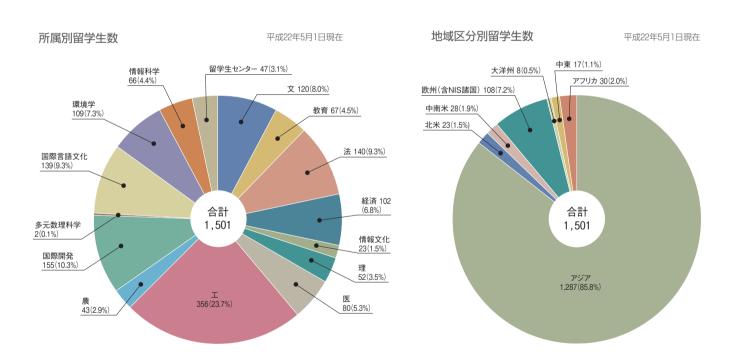
 注 海外留学の種類・目的は交換留学、研究、語学研修、学位取得等。

地域区分	国(地域)名	留学生	外 国 人 研究者等	合 計
	インド	17	22	39
	インドネシア	55	13	68
	カンボジア	37	92	129
	シンガポール		2	2
	スリランカ	7	4	11
	タイ	19	106	125
	韓国	135	138	273
	台湾	52	56	108
	中国	785	154	939
	ネパール	10	1	11
アジア	パキスタン	4	1	5
	バングラデシュ	30	7	37
	フィリピン	14	3	17
	ブルネイ		2	2
	ベトナム	37	14	51
	マレーシア	45	5	50
	ミャンマー	10	4	14
	モンゴル	15	13	28
	ラオス	15	7	22
	小計	1,287	644	1,931
	米国	18	132	150
北米	カナダ	5	19	24
	小計	23	151	174
	アルゼンチン	1	3	4
	エクアドル	1		1
	グアテマラ	1		1
	コスタリカ	1		1
	ドミニカ共和国	1		1
	パナマ	1		1
- <del></del>	パラグアイ	1		1
中南米	ブラジル	14	3	17
	ベネズエラ		1	1
	ペルー	2	1	3
	ボリビア	2		2
	ホンジュラス	1		1
	メキシコ	2	2	4
	小計	28	10	38

地域区分	国(地域)名	留学生	外 国 人 研究者等	合 計
	アイスランド		1	1
	アイルランド		2	2
	アゼルバイジャン	2	1	3
	アルバニア	1		1
	アルメニア	1	00	1
	イタリア ウクライナ		33	33
	ウズベキスタン	37	8	45
	英国	7	47	54
	オーストリア	,	7	7
	オランダ		7	7
	カザフスタン	2	8	10
	ギリシャ		2	2
	キルギス	3		3
	グルジア		1	1
	クロアチア	1		1
	スイス		8	8
Gh.U.I	スウェーデン	2	11	13
欧州 (含NIS諸国)	スペイン	1	9	10
(国INIO開国)	スロバキア	1		1
	スロベニア		1	1
	セルビア	1	5	6
	タジキスタン	1		1
	チェコ	1	4	5
	デンマーク		4	4
	ドイツ	14	58	72
	ノルウェー		3	3
	ハンガリー	5		5
	フィンランド		5	5
	フランス	6	50	56
	ブルガリア	3		3
	ベルギー		1	1
	ポーランド	8	14	22
	ポルトガル	0	7	7
	ルーマニア	3	3	6
	ロシア	108	15	23
	小 計 オーストラリア	6	317 24	425
	ニュージーランド	1	17	18
大洋州	パプアニューギニア	1	17	10
	小計	8	41	49
	イスラエル	0	1	1
	イラク		2	2
	イラン	7	20	27
中東	シリア	1	1	2
	トルコ	8	4	12
	バーレーン	1		1
	小計	17	28	45
	エジプト	8	10	18
	エチオピア	2	2	4
	エリトリア		7	7
	ガーナ	2		2
	ガボン	1		1
	カメルーン	1		1
	ギニア		1	1
	ケニア	6	2	8
	コンゴ民主共和国	1		1
アフリカ	シエラレオネ	1		1
, , , , , ,	スワジランド		1	1
	タンザニア	1		1
	チュニジア	1		1
	ナイジェリア	1		1
	ブルキナファソ		1	1
	マダガスカル	2		2
	マラウイ	1		1
	南アフリカ		2	2
	モザンビーク	2		2
	小計	30	26	56
	合 計	1,501	1,217	2,718

留学生数の推移





### 外国大学等との協定締結状況

学術交流協定 平成22年5月1日現在

締結46か国・地域等			協定大学等	
	大学間協定(85機関)	1070	部局間協定(195機関) タタ基礎科学研究所自然科学研究所	(理·1999)
ンド (5機関)	※インド科学大学院大学	2007	タタ基礎科学研究所目然科学研究所 インド工科大学マドラス校	(工・2001)
	※タタ基礎科学研究所 ※ガジャマダ大学	2008 1995	インドネシア国立宇宙航空研究所	(太陽・1988
	※スラバヤ国立大学	2000	※パジャジャラン大学文学部	(文・2001)
	※バンドン工科大学	2008	※シアクラ大学理学部	(環境・2005
′ンドネシア(10機関)			※ディポネゴロ大学アジア研究センター	(教育·2006
			技術評価応用局環境工学センター	(エコ・2006
			※インドネシア大学工学部	(⊥ ⋅ 2008)
	** T ÷ → / \ / \ \ / \ / \ / \ / \ / \ / \ / \	0010	※インドネシア大学情報科学部	( <u>T</u> · 2008)
コンボジア(3機関)	※王立プノンペン大学	2010	※王立法経大学   ※カンボジア王立農業大学	(法·1998) (農·2008)
( ( ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	※カセサート大学	1981		
9イ(3機関)	※チュラロンコン大学   ※チュラポーン研究所・チュラポーン大学院大学	1992 2008		
	※木浦大学校	1999	韓国標準科学研究院天文台	(理・1992)
	※慶尚大学校	1999	※高麗大学校国際大学院	(国際·1998
	※梨花女子大学校	2002	※忠南大学校経商大学	(経・1999)
	※漢陽大学校	2004	※高麗大学校師範大学	(教育·1999
	※高麗大学校		※韓国海洋大学校海事大学及び工科大学	(I · 2001)
	※ソウル国立大学校	2006 2007	韓国高等科学院数学部	(多・2004)
	※慶熙大学校   ※延世大学校		※ソウル国立大学校法科大学 慶南大学校産学協力団	(法·2005) (エコ·2005
	※成均館大学校	2009	※成均館大学社会科学部	(法・2005)
国(28機関)	WISO-DAILY C. I.A.	2000	韓国法制研究院	(法国·2006)
			プキョン大学校環境・海洋大学	(地・2006)
			※釜山大学校工学部	(⊥ · 2006)
			※韓国外国語大学校一般大学院·国際地域大学院	(言研・2007
			ソウル国立大学校地球環境科学研究所	(地・2007)
			全南大学経営学部	(経・2008)
			※ソウル市立大学校法政大学	(法・2008)
			全北大学校東北アジア法研究所	(法国·200
			韓国地質資源研究院地質・環境災害部門	(環境・200
	<b>火</b> 見さり茶上巻	0007	※慶北大学校工学部	(I · 2009)
	※国立台湾大学   ※国立政治大学	2007	※国立政治大学法学部 ※国立台湾師範大学教育学院	(法·2000) (教育·200
湾 (8機関)	※国立政治人子 ※国立清華大学	2007	東呉大学法学院・同法律学系	(
/号(0版图)	※国立/月華八子	2000	米央人子広子院	(数育·2000)
			※東呉大学外国語文学院	(言研·2009
	※南京大学	1982	※中南大学	(I · 1985)
	※吉林大学	1985	桂林工学院	(理・1985)
	※華中科技大学	1986	※北京工業大学	(⊥ · 1986)
	※清華大学	1989	中国科学院紫金山天文台	(理・1988)
	※復旦大学	1999	成都地質礦産研究所	(理・1988)
	※西安交通大学	1999	成都理工大学(成都地質学院)	(理・1988)
	※浙江大学		中国科学院国家天文台	(理・1992)
	※上海交通大学		※中国政法大学	(法·1994)
	※同済大学	2001 2001	※華東師範大学教育科学学院	(教育・199
	※東北大学   ※北京大学		北京大学高等教育科学研究所 中国社会科学院文学研究所・少数民族文学研究所	(教育・1997 (国際・2000
	※哈爾濱工業大学		北京大学国際関係学院	(法·2000)
	※中国科学技術大学		※中華人民共和国国家行政学院法学教育研究部及び政治学教育研究部	(法・2000)
	中国科学院上海有機化学研究所	2004		(法・2001)
国(45機関)	※香港中文大学		中国科学院高能物理研究所	(太陽・200
	※香港大学		※北京第二外国語学院	(言研·200
			※南京航空航天大学	( ⊥ · 2003 )
			江蘇省社会科学院	(経・2003)
			中国科学院過程工程研究所	(エコ・200
			中国極地研究所	(太陽·200
			西南交通大学経済管理学院	(経・2005)
			北京理工大学管理経済学院	(経・2005)
			中国科学院生態環境研究中心	(III · 200
			天津大学管理学院	(経・2007) (経・2007)
			中国社会科学院人口·労働経済研究所 ※対外経済貿易大学国際経済貿易学院	(経・2007) (経・2008)
				(程・2008) (環境・200
				(東東・2009)
			※海南大学法学院	(法·2010)
			※バングラデシュ農業大学	(農・2000)
ングラデシュ(3機関)			バングラデシュ工科大学物理学部	(地・2008)
			ダッカ大学社会科学院	(国際·201
ィリピン(2機関)			※フィリピン大学ロスバニヨス校	(国際·199
. J (	Will Committee and the second	0000	※フィリピン大学ディリマン校	(環境・2006
	※ハノイ工科大学	2009	ベトナム国家と法研究所	(法・1995)
1 <del>1</del> / (048888)			※ハノイ法科大学	(法・1999)
トナム (6機関)			※ホーチミン市法科大学	(法·1999)
			ベトナム科学技術アカデミーホーチミン資源地理研究所	(環境・200
	※エンゴル国立士党	JUUG	※ベトナム国家大学ホーチミン市校科学大学環境科学学部	(環境・200 (医・2004)
	※モンゴル国立大学 エンゴル科学技術士学	2006	※モンゴル健康科学大学	(医・2004)
ンゴル(7機関)	モンゴル科学技術大学	2009	モンゴル鉱物資源石油局地質情報センター モンゴル国立法律センター	(博·2006) (法国·2006
. ノ コル ( /			モノコル国立法律センター   ※モンゴル科学技術大学地質石油工学部	(法国・200 (環境・200

締結46か国・地域等	十分問行之 (000年月)		協定大学等	
ラオス(2機関)	大学間協定(85機関) ※ラオス国立大学	2001	部局間協定(195機関) ラオス国立農林業研究所	(農/環境·200
	オバーリン大学		※ミシガン大学工学部	(I · 1980)
	※ノースカロライナ州立大学		カリフォルニア大学ロサンゼルス校教育学部	(教育·1981
	ハーバード・イェンチン研究所	1986	ヒューストン大学工学部	(⊥ · 1984)
	※シンシナティ大学		カリフォルニア大学バークレー校物理学部	(理・1987)
	※セント・オラフ大学		※ノースカロライナ大学チャペルヒル校医学部	(医・1989)
	※南イリノイ大学カーボンデール校		カリフォルニア大学バークレー校自然資源学部	(農・1989)
	※イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校		アラスカ大学地球物理研究所	(太陽·1990
	※ニューヨーク大学		米国海洋大気局宇宙空間環境研究所	(太陽・1992 (太陽・1993
	※シカゴ大学   ※ケンタッキー大学		米国海洋大気局地球物理データセンター   マサチューセッツ工科大学へイスタック研究所	(太陽・1994 (太陽・1994
	※フララッヤー人子   ※ミネソタ大学		イップュービックエ特人子・イースクック研究が    八一バード大学医学部	(医・1995)
	- ペーペンフスチ - ※カリフォルニア大学ロサンゼルス校		パーパー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー・パー	(医・1995)
			※ペンシルベニア大学医学部	(医・1997)
			カリフォルニア大学サン・ディエゴ校天体物理及び宇宙科学研究センター	
			コロラド鉱山大学	(⊥ · 1998)
			※ケンタッキー大学工学部	(⊥ ⋅ 2000)
米国(45機関)			アラスカ大学地球物理研究所	(理/環境·200
			※デューク大学医学部	(医・2002)
			※ジョンズホプキンス大学医学部	(医・2003)
			ウィスコンシン大学ロー・スクール	(法/法国·200
			ウィスコンシン大学東アジア法律研究センター	(法国·2003
			メリーランド大学工学部機械工学科 ワシントン大学遺伝子工学材料科学工学センター	(エコ・2005 (エコ・2005
			ウンフトン人子道仏ナエ子材料科子エチセンター   カリフォルニア大学ロサンゼルス校カリフォルニアナノシステム研究所	(III · 2006
			ノースウェスタン大学材料研究所	(III · 2006
			※カリフォルニア大学バークレー校グローバルメトロポリタン研究センター	(環境・2007
			カリフォルニア大学ロサンゼルス校工学・応用科学部	( ⊥ · 2007)
			テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター	(医・2007)
			ミシガン州立大学物理天文学部	(理・2007)
			※グリーン・マウンテン・カレッジ	(法・2007)
			カリフォルニア大学サンタバーバラ校ブレン環境科学・マネジメント研究科	(環境・2008
			ミシガン大学化学科	(I · 2009)
	※ヨーク大学	2006	ミシガン大学工学部高分子科学工学研究センター カールトン大学理学部	(工·2009) (理·1975)
カナダ(5機関)	※コーン人子   ※トロント大学 (The Faculty of Arts and Science)		カールドン人子ほ子品   ※トロント大学オンタリオ教育研究所	(姓 · 1975)
	TIET actify of Arts and Science/	2000	ビクトリア大学アジア太平洋研究センター	(法・2002)
711 175 75 (014400)			国立ロサリオ大学生化学・薬学部	(農・1993)
アルゼンチン(2機関)			ルイスF・ルロア・カムポマール財団生化学研究所	(農・1994)
グアテマラ (1機関)			※バレ・グアテマラ大学工学部	(⊥ · 2008)
ブラジル(4機関)	※ブラジリア連邦大学	1999	ブラジル国立宇宙科学研究所	(太陽·1997
	※サンパウロ大学	2008	ジョアキン・ナブコ研究所	(国際・1997
ボリビア (1機関)			ラパス・サンアンドレス大学理学部附属チャカルタヤ宇宙線研究所	(太陽·1992
メキシコ(1機関)			ソノラ大学	(理·1989)
アルメニア(1機関)	イタリア国立核物理学研究所	2005	エレバン物理研究所	(太陽·1996
イタリア(2機関)	イタリア国立核物理子研究所    ※カターニア大学	2003		
ウクライナ(1機関)		2000	ウクライナ科学アカデミー理論物理学研究所	(理・1992)
	※タシケント国立法科大学	2006		(法・2000)
ウズベキスタン(3機関)			※世界経済外交大学	(法・2000)
	※シェフィールド大学	1985	ノッティンガム大学生命科学部	(農・1994)
	※ウォリック大学		イーストアングリア大学社会科学学部国際開発学科	(国際・1998
英国(9機関)	※ブリストル大学		※マンチェスター大学生命科学部	(理・1999)
	※ロンドン大学東洋アフリカ学院	2008	レスター大学物理天文学部	(理・2008)
			オックスフォード大学物理学部	(理·2008)
オーストリア(2機関)			※リンツ(ヨハネス・ケプラー)大学法学部	(法・2002)
			※ウィーン医科大学	(医・2005) (農/環境/地·20
オランダ(2機関)			** フッパニングン人字   ** アムステルダム自由大学地球生命科学部	(農/環境/地·20 (農/環境/地·20
			※カザフスタン人文・法科大学	(法·2004)
カザフスタン(2機関)			カザフスタン立法研究所	(法国·2009)
スイス (1機関)			ベルン大学学際的エコロジー研究センター	(III · 2007
			スウェーデン宇宙物理研究所	(太陽·1993
スウェーデン(2機関)			※ルンド大学法学部	(法・2003)
デンマーク (1機関)	※コペンハーゲン大学	1984		(100
	※ブラウンシュバイク工科大学		※フライブルク大学経済学部	(経・1972)
	※ミュンヘン工科大学	1997		(理・1989)
	※ケムニッツ工科大学		※マインツ大学化学薬学部	(理·1997)
	※フライブルク大学	2001	ドイツ航空宇宙研究機構航空宇宙医学研究所	(環医・1997
			ウルム大学数学・経済学部	(多・1999)
ドイツ(17機関)			※フライブルク大学医学部   ※アーヘン工科大学数学・計算機科学・自然科学部	(医・2000) (理/物質・200
□・□ ノ (□/仮送)			※アーヘンエ科人字数字・計算機科字・自然科字部   ※レーゲンスブルク大学法学部	(建/物質・200 (法・2004)
			** レーケンスフルン人子広子部   ** ミュンスター大学化学薬学部	(法·2004) (理/物質·200
			※ミュンスター人子化子条子部   ※ルール大学ボーフム校物理天文学部及び電子情報学部	(王·2005)
				(環境・2003)
			ガイダースプラブルフエ行人子建築/ 王間・環境計画/ エポエ子子部   ※ベルリン自由大学環境政策研究所	(環境・2008 (環境・2008
			ミュンヘン東欧法研究所	(法国·2008
				,,
/ II - (OM*FC)			オスロ大学物理学教室	(太陽·1990
ノルウェー(2機関)			オスロ大学物理学教室 トロムソ大学理学部	
ノルウェー(2機関)				(太陽·1990 (太陽·1993 (法·2004)

締結46か国・地域等			協定大学等	
柳和40万里,地域寺	大学間協定(85機関)		部局間協定(195機関)	
	※ポンゼショセ工科大学 ※パリ第7大学(ドニ・ディドロ大学) ※リヨン第3大学	2004	※グルノーブル第3大学(スタンダール大学) ※パリ第4大学(ソルボンヌ大学) ※ポンゼショセエ科大学国際経営大学院	(文·1994) (文·1998) (丁·1999)
フランス (17機関)	※グルノーブル大学群 ※ストラスブール大学 ※パリ東大学	2006 2006	<ul><li>※リヨン第3大学</li><li>※文学人文科学高等師範学校</li><li>※パリ第2大学 (パンデオン・アサス大学)</li><li>エクス=マルセイユ第3大学 (ポール・セザンヌ大学)</li></ul>	(国際・2000) (言研・2001) (法・2006) (法・2006)
			リヨン高等師範学校 ※リヨン高等師範学校 ※エクス=マルセイユ第1大学(プロヴァンス大学) パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校	(理・2007) (情報・2008) (文・2009) (環境・2009)
ブルガリア(4機関)			ソフィア大学天文学部 ブルガリア科学アカデミー宇宙科学研究所 ブルガリア科学アカデミー電子工学研究所 ブルガリア科学アカデミー数学研究所	(理·1989) (理·1989) (理·1989) (理·1989)
ベルギー(1機関)			※ブリュッセル外国語大学	(言研·2003)
ポーランド(2機関)			※グダニスク医科系大学医学部 ※ワルシャワエ科大学	(医·1995) (エ·1996)
ラトビア(1機関)			ラトビア大学	(理・1989)
ロシア(9機関)			理論実験物理学研究所 厚生省医学・生物学研究所 モスクワ大学物理学部 ※ロシア科学アカデミー・シベリア支部細胞学遺伝学研究所 ※モスクワ工業物理大学 ロシア科学アカデミー・コンピュータ支援設計研究所 ロシア科学アカデミー・極東支部宇宙物理学及び電波伝搬研究所 ロシア科学アカデミーシベリア支部太陽地球系物理学研究所 モスクワ大学化学研究科	(理・1992) (環医・1993) (エ・1993) (農・1997) (エ・1998) (エ・2005) (太陽・2007) (太陽・2008) (環境・2010)
オーストラリア(8機関)	※シドニー大学 ※モナシュ大学 ※フリンダース大学 ※南オーストラリア大学 ※アデレード大学 ※オーストラリア国立大学		※南オーストラリア大学・フリンダース大学・アデレード大学 メルボルン大学アジア法センター	(工·2000) (法国·2006)
ニュージーランド(3機関)			ニュージーランド国立水圏大気圏研究所 オークランド大学地球物理研究センター カンタベリー大学理学部	(太陽·1989) (太陽·1992) (太陽·1998)
トルコ (1機関)	※ビルケント大学	2010		
エジプト(1機関)			※タンタ大学工学部	(⊥ · 2008)
ケニア(2機関)			ナイロビ大学地質学部 アフリカ人造り拠点研究所	(理·1972) (農国·2002)
南アフリカ(1機関)			南アフリカ天文台	(理・1998)
国際機関 スイス (1機関)	欧州原子核研究機構	1990	a second	, = 1000
	東南アジア地域農業教育研究センター	1983		

注 ※は授業料を不徴収とする大学間(部局間)交流協定を締結している機関。

#### 産学連携に関する協定

ノースカロライナ州立大学(2007)
ノースカロライナ大学チャペルヒル校(2007)
ウォリック大学 (2007)

#### 国際共同研究に関する協定

ブラジル科学技術省、国立宇宙研究所、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部 (2005)	ニューサウスウェールズ大学(2007)
ルール大学ボーフム校プラズマ科学技術センター(2008)	成均館大学先端表面プラズマ工学センター(2008)
テキサス大学ダラス校先端材料プロセシング国際センター(2009)	成均館大学(2009)

#### グローバル COE プログラム拠点における博士課程後期課程学生受入にかかる覚書等

国立清華大学人文社会学院(文・2010)
ラオス国立農林業研究所(農/環境・2009)
エクス=マルセイユ第1大学(プロヴァンス大学)(文・2009)
パリ東大学 (文·2010)

#### 注 略号は次の通り。

# 国際学術コンソーシアム The Academic Consortium 21: AC21

## 概要

国際学術コンソーシアム (Academic Consortium 21; AC21) は、2002年6月24日に開催された名古屋大学国際フォーラムにおいて、高等教育の発展のためにグローバルな レベルでの相互協力を一層促進し、国際社会や地域社会に貢献するために設立された。メンバー及びパートナーが、ベンチマーキング、教職員・学生交流等の諸活動を通じて、 世界の異なる地域社会の架け橋となることを目的としている。また、2年毎に「AC21国際フォーラム」を開催し、これらの活動結果の総括や変化の激しい社会における大学 の役割の再認識を行う。

### AC21メンバー 20機関

AOLIVION LOIMIN	
機関名	国 名
アデレード大学	オーストラリア
ウォリック大学 <sup>†</sup>	英国
ガジャマダ大学	インドネシア
カセサート大学	タイ
華中科技大学	中国
吉林大学	中国
ケムニッツ工科大学†	ドイツ
シドニー大学	オーストラリア
上海交通大学 <sup>†</sup>	中国
ステレンボッシュ大学	南アフリカ

平成22年5月1日現在
-------------

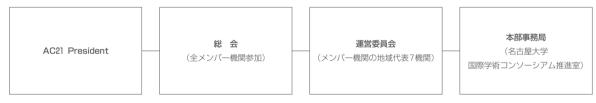
機関名	国 名
ストラスブール大学	フランス
チュラロンコン大学 <sup>†</sup>	タイ
同済大学	中国
東北大学	中国
名古屋大学	日本
南京大学	中国
ノースカロライナ州立大学 <sup>†</sup>	米国
フライブルク大学	ドイツ
北京大学	中国
ラオス国立大学	ラオス

注 †は運営委員会メンバー機関。

### AC21パートナー 6機関

AC21パートナー 6機関	平成22年5月1日現在
機関名	国 名
伊藤忠商事株式会社	日本
中部電力株式会社	日本
トヨタ自動車株式会社	日本
日本ガイシ株式会社	日本
Advantage West Midlands	英国
Asia House	英国

## AC21組織図



### AC21活動年表

年月日	活 動 內 容
2002. 6.24	AC21の創設(名古屋大学国際フォーラム開催時)
2003.10.20~10.21	第1回 AC21運営委員会開催(於:名古屋大学)
2004. 7.21~ 7.24	AC21国際フォーラム2004、第1回総会、第2回 AC21運営委員会開催(於:シドニー大学(オーストラリア))
2005. 7.22	第3回 AC21運営委員会開催(於:名古屋大学)
2005. 7.29~ 8. 8	第1回 AC21学生世界フォーラム開催(於:名古屋大学)
2006. 7. 3~ 7. 6	AC21国際フォーラム2006、第2回総会、第4回 AC21運営委員会開催(於:ウォリック大学(英国))
2007. 7.23~ 7.27	第2回 AC21学生世界フォーラム開催(於:ポンゼショセエ科大学(フランス))
2007.10.25~10.26	第5回 AC21運営委員会開催(於:名古屋大学)
2007.10.26	AC21国際シンボジウム (於:名古屋大学)
2007.11.15~11.16	AC21学生ミニフォーラム開催(於:名古屋大学)
2008. 7.27~ 7.30	AC21国際フォーラム2008、第3回総会、第6回 AC21運営委員会開催(於:ノースカロライナ州立大学(米国))
2009. 6.22~ 6.27	第3回 AC21学生世界フォーラム開催(於:ケムニッツ工科大学(ドイツ))
2009.10.29~10.30	第7回 AC21運営委員会開催(於:名古屋大学)
2009.10.30	AC21国際シンポジウム (於:名古屋大学)
2010.10.18~10.21	AC21国際フォーラム2010、第4回総会、第8回 AC21運営委員会開催予定(於:上海交通大学(中国))
2011	第4回 AC21学生世界フォーラム開催予定(於:チュラロンコン大学(タイ))
2012	AC21国際フォーラム2012、第5回総会、第9回 AC21運営委員会開催予定(於:アデレード大学(オーストラリア))

# 地域貢献特別支援事業

# 平成21年度事業の概要

	事業名(担当部局)	事業のポイント・概要	連携自治体等
生涯学習	都市近郊の農業教育公園 (生命農学研究科)	本プロジェクトでは、生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド(農場)において、近郊地域の小学生と保護者が農業と自然を体験する「農業ふれあい教室」、一般市民に大学の研究を身近なものとして伝える「農場講演会」、地域の自然愛好団体と連携した「自然観察会」などを実施する。また、農業教育公園としての施設整備を行う。	東郷町、三好町、日進市
医療・保健・福祉	脳卒中救急医療ネットワーク 確立事業の災害医療への応用 (医学系研究科) 地域頁献特別支援事業「脳卒中救急医療ネットワーク確立事業」で培ったノウハウを通して、「療支援用モバイル携帯システム」、「ハザード表示システム」を開発し、「連携医療ネットワークと連結することで、災害情報の取得から災害医療の実践までのプロセスの一本化を目指してる。これを実現することで発災直後の医療を支援する体制を整える。		愛知県医師会、災害 医療支援システム開 発コンソーシアム
	高齢者排泄管理の改善事業 (医学部附属病院)	高齢者の排泄管理の向上を、排泄リハビリテーションと位置づけ、寝たきり防止、高齢者のクオリティオブライフ(QOL)の改善を目的として、本学の知識・人材を生かした大学の地域貢献の形で、啓発・教育・情報の提供・排泄管理に関する地域ネットワークの構築などを行う。	NPO 愛知排泄ケア 研究会、愛知県
↑++±=-+	地球を丸ごと科学する一地域 博物館との連携による、小中 高生対象の自然体験実習プロ ジェクト (博物館)	博物館が教育学部附属高等学校や名古屋市科学館と連携して、地球と生命を包括的に考える自然教育を、野外観察・標本採集・野外実験などのフィールド現場での実体験を重視した実習プログラムによって行う。科学研究や教育分野の細分化が進む中、子供達にフィールドでの自然体験の楽しさを教え、その体験から地球のダイナミクス、そしてそこに暮らす生物の豊かさ・貴重さを総合的に考える機会を作る。そしてこれらの実習を通して、実体験に基づき様々な物事を関連づけて考える力を持つ人材を育成し、地域教育への貢献を果たす。	地元の小中高校、名古屋市科学館
人材養成	東海地区ものづくり教育の中 心地としての高校生・一般市 民へのものづくりの啓蒙 (工学研究科)	工学研究科創造工学センターを拠点として、工学研究科・工学部が県内スーパーサイエンスハイスクール(SSH)実施校と連携して、高校生向けのものづくり実習講座として「機械系ものづくり講座」並びに「電子回路系ものづくり講座」をそれぞれ数回ずつ行い、サイエンスと一般社会をつなげている工学のおもしろさと難しさを伝えるとともに、ものづくりを通した高大連携と交流を進める。また、開かれた大学の社会貢献として、一般市民へのものづくり講座も同時に開催する。	愛知県内の高校
文化	木曽三川流域における歴史情報資源の高度活用 (附属図書館)	愛知県、大垣市、愛西市、岐阜県、養老町など、木曽三川流域の自治体と本学は、附属図書館所蔵高木家文書を中核とした古文書、文化財、史跡等の調査、研究、保全につき、互恵的かつ学際的な検討を継続している。本年度も引き続き、流域に関わる学内外の歴史情報資源を積極的に収集整理し、デジタルアーカイブズ化、中核的な資料の選定と撮影画像の公開、破損資料の補修と資料保存環境の改善、重要資料の全文翻刻とテキスト公開、これらの情報を集約する GIS 機能(地理情報システム)搭載による Web 上での公開など、本学の学術情報発信能力を一層強化する。あわせて、電子図書館機能を発展させたコラボレーション機能開発、生涯教育等へのコンテンツ提供を継続し、地域研究の活性化を図る。	愛知県、岐阜県、大 垣市、愛西市、養老 町
	中京圏における地震防災ホームドクター計画 (環境学研究科)	本プロジェクトは大学・地域住民・行政・民間の適切な役割分担に基づく緊密な協働により、中京圏の地震防災力の向上ための活動を継続的に推進するものである。平成14年度の文部科学省地域貢献事業でスタートして以来、大学が「ヒト・コト・モノ」の各側面から地域防災活動の基盤を継続的に発展させることで成果を上げ、地域防災の「名古屋モデル」の創出につなかっている。今年度はさらに継続性を保証できる新たな仕組み作りも目指しながら維持・発展させる。具体的には、防災活動を進める様々な人材やグループの支援・育成、地域住民の教育・啓発に関する活動及びその環境整備を行う。さらにその活動を通じて、防災教育・研究の体系化を目指し、地域環境の保全・発展や生活の質の向上をになう学問体系と教育の継続的発展に資する。	愛知県、名古屋市
	住民連携による里川保全管理 のための文理融合型環境教育 (環境学研究科)	地域住民との連携協働によるアクションリサーチによって、「里川」の生物多様性保全、管理の 自主的地域システムを樹立する為の文理融合的環境教育プロジェクト。	伊勢湾流入地域
地域課題	地域日本語教育支援事業(留学生センター)	高齢化が進む地域の日本語ボランティア教室に参加する若者を増やすために、すでに活躍している若者をパネリストに迎え、研修会を開催する。	(朝愛知県国際交流協会、) (朝名古屋国際センター、東海日本語ネットワーク、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会
	外国籍住民のための発展型防 災研修の環境整備 (留学生センター)	外国籍研究者や留学生が全国でも特に多く活躍する本学で、これまで留学生センターを中心とした関係部局の連携により地震防災セミナーを10年以上継続して行なってきた。2007年度の科学技術振興調整費及び昨年度の教育研究改革・改善プロジェクト経費により、この地域で進みつつある学術・生活環境の多文化化を視野に入れた、より発展した防災教育についてデータを得ることができた。その中で、地震等の自然災害を知らない留学生、外国籍研究者にとっては、特に体験、展示施設などによる教育効果が期待できることがわかった。そのため、本年度は、地震体験や今年50周年を迎える伊勢湾台風の疑似体験が可能な名古屋市港防災センターを利用した研修の内容構築及び環境整備を行い、地域住民も活用できるようにする。	名古屋市港防災センター、名古屋市

## 平成22年度事業の概要

	事業名(担当部局)	事業のポイント・概要	連携自治体等
生涯学習	<b>学習</b>		東郷町、三好町、日進市
医療・保健・福祉	障がいをもつ多胎児とその家族の会「手をつなぐネットワーク」次世代育成プロジェクト (医学部保健学科)	多胎児でかつ障がいのある子どもをもつ家族は、単に多胎児育児の困難さだけでなく、特別なケアニーズをもつ子どもの育児を余儀なくされるため、保健医療職による心理的社会的支援を必要としている。本プロジェクトは医学部保健学科看護学専攻発達看護学講座と多胎児をもつ家族の会「ツインマザースクラブ」を中心に、名古屋市立大学、岐阜大学、中部大学及び金城大学の看護学・音楽療法学の教員・大学院生の連携により、障がいのある子どもだけでなく、兄弟児や両親を含む家族全体の次世代育成支援を行う。	障がいをもつ多胎児 とその親の会ツイン マザースクラブ「手 をつなぐネットワー ク」
	高齢者排泄管理の改善事業 (医学部附属病院)	高齢者の排泄管理の向上を、排泄リハビリテーションと位置づけ、寝たきり防止、高齢者のクオリティオブライフ(QOL)の改善を目的として、名古屋大学の知識・人材を生かした大学の地域貢献の形で、啓発・教育・情報の提供・排泄管理に関する地域ネットワークの構築などを行う。	NPO 愛知排泄ケア 研究会、愛知県

	事業名(担当部局)	事業のポイント・概要	連携自治体等
	国際協力を通じた参加型地域 づくり人材育成支援事業 (国際開発研究科)	自己決定権を活用して、地域独自の自立推進を目指していく必要に迫られている自治体及び地域 住民の事業や運動に対して、これまでに整備された地方公共財を含む地域資源を利用し、地域の 裁量権を拡大する視点から持続可能な地域発展・再生のあり方を探る参加型人材育成事業を実施 し、地域内及び国内外で地域づくりに参画できる人材を育成する。	長野県下伊那地区、 長崎県長崎市、福岡 県みやま市、愛知県 瀬戸市
人材養成	ゲノム科学実験を通して現代 生物科学の基礎を学ぶ (遺伝子実験施設)	愛知県のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校や名古屋市東山植物園と連携して、高校の先生・生徒を対象に「ゲノム・タンパク解析講座」を開催し、身近な生物を材料にした実験・演習を通してゲノム科学の進展を伝える。	愛知県内の高校
	多様性を五感で体験一地域の 博物館との連携による自然・ 文化体験実習プロジェクト (博物館)	博物館が名古屋市科学館と連携して、「理科離れ」「モノ離れ」が危ぶまれている小中学生を対象に、自然観察・文化体験などを通して多様性を楽しく学べる実習を行う。開催に際しては、親子参加や、逆に子どもだけの企画など、参加形態も工夫し、学校や学年を越えて共に学習することの楽しさを体験できる場を提供する。最終的にこれらの実習を通して、自然の多様性を実感して学ぶ力を持つ人材を育成し、地域教育への貢献を果たす。	地元の小中高校、 名古屋市科学館
	木曽三川流域における歴史情報資源の高度活用 (附属図書館)	本年度は、大垣市教育委員会と連携し、デジタルアーカイブズ化、中核資料の画像公開、破損資料の補修と資料保存環境の改善など、木曽三川流域の歴史情報資源の総体的把握を進め、各自治体による利活用、生涯学習コンテンツとしての提供により地域文化育成に寄与していく。	愛知県、岐阜県、大 垣市、愛西市、養老 町
文化	奥三河過疎山村地域における 伝統文化の継承支援と地域振 興に関する地域共同調査研究 プロジェクト (文学研究科)	東栄町、設楽町、豊根村において、伝統芸能を継承している保存会及び地域住民、行政担当者と 共同で調査研究を行い、伝統の継承に活用可能な記録資料の作成・保存に努めるとともに、伝統 文化の消失を抑止し得る方途を探究する。また、それらの成果の上に立って、伝統芸能を「文化 資源」として活用しつつ、地域振興を実現させるための活動を支援する。	愛知県奥三河地域
	「アジアと地域を結ぶ教育拠点」の構築 (法政国際教育協力 研究センター)	多数のアジア諸国からの留学生が学び、研究・教育のためのノウハウと施設を持つ大学には、地域とアジア諸国との交流や地域住民の国際化のための開かれた「教育拠点」となり、住民・大学生・中高生らにアジアの社会・歴史・文化に関する基礎知識やコミュニケーション能力を養うための機会を組織的・継続的に提供していくことが期待される。本事業では、当センターが、アジアと地域を結ぶ「教育拠点」となることを目指す。	愛知県、名古屋市
情報発信・	"Arts and Uni" —あいちト リエンナーレ2010と名大 (情報文化学部)	本プロジェクトは、知の総合的なあり様のひとつである現代芸術に注目しつつ、情報文化学部で行われてきた映像を使った文理融合型教育の創出、芸術と地域とのかかわりに関する研究などの成果をもとに、それらの研究成果を国際展覧会「あいちトリエンナーレ2010」を契機に、公開レクチャーを通して、広く地域に還元することを目的とする。	愛知芸術文化セン ター、名古屋市美術 館
住民サービス	次世代を担う青少年及び保護 者に対する科学・技術理解増 進 (工学研究科)	科学技術創造立国を目指す我が国の将来を支えるべき青少年及び彼らと普段接する保護者・一般市民に対して、名古屋大学の優れた研究成果を紹介するとともに、関連の学協会や日本弁理士会、NPOなど各種団体の連携組織を構築して、科学技術への理解増進と優れた人材の教育・育成を行う事を目的とする。	愛知県、愛知県教育 委員会
	脳腫瘍の世界的標準治療を地域に根ざす市民団体との共同 事業 (医学系研究科)	稀少疾患である脳腫瘍でも各地域でいつでも誰でも世界的標準治療が自由に受けられるような体制を整備する事を目標に、市民団体と共に啓発活動を展開する。特に手術後に放射線治療や化学療法等の補助療法が必要な脳腫瘍に関し、現時点における科学的根拠に基づいた治療法の紹介と対策について、東海地区七大学の脳腫瘍診断及び治療のスペシャリストが市民と対話することで、脳腫瘍治療の新たな一歩を歩み出す。	NPO 脳腫瘍ネット ワーク
	名古屋大学農学部発日本酒プロジェクト (生命農学研究科)	生命農学研究科の八重桜から単離した「花酵母」、同研究科附属フィールド科学教育研究センターで開発した「酒造好適米」、同センター東郷フィールド(農場)で栽培した「酒米」を用いて、愛知県産業技術研究所の技術指導の下で盛田株式会社の施設を利用して日本酒を醸造し、盛田株式会社関連の販売会社 JFL を通じて、名古屋大学消費生活協同組合、名古屋大学同窓会(全学、農学部)等で販売を行う。	愛知県産業技術研究 所
	中京圏における地震防災ホームドクター計画 (環境学研究科)	本プロジェクトは大学・地域住民・行政・NPO・民間等の広範な連携協働と積極的な役割分担により、中京圏の防災力向上のための活動を継続的に推進する枠組みである。今年度は、将来に向けた地域人材育成や地域防災基盤データバンクなどの仕組みづくりにも注力し、活動基盤の継続的な維持・発展を目指す。	愛知県、名古屋市
地域課題	地域防災貢献「御嶽山ととも に生きる:御嶽山を知り、触 れ、噴火に備える」 (環境学研究科)	御嶽山は有史初の噴火から30年が経過した。大きな被害を出した長野県西部地震からも26年が経過し、住民の意識からこのような災害意識が消えつつある。名古屋大学では40年にわたる御嶽山の調査研究実績があり、それらをどのように地域の地震火山防災に役立たせるかその方策を探るとともに、将来の地元防災を担う人材育成を目指す。	王滝村、木曽町三岳 と開田、高山市朝日、 下呂市小坂の中学校
	住民連携による里川保全管理 のための文理融合型環境教育 プロジェクト (環境学研究科)	ため池など「里川」の生物多様性は、農業の変化や混住化などを背景とする水環境管理の低下の 影響を受けている。従って保全を進めるためには、これまで農家が行ってきた管理を新しい枠組 みで再構築する必要がある。そこでそれぞれの地域ごとに、地域の農業関係団体、地元小中学校、 高校、自治会、自治体、NPO 及び地域住民との連携協働によるアクションリサーチによって、「里 川」の生物多様性保全、管理の自主的地域システムを樹立する。	愛知県、三重県、岐阜県、自治体(菰野町、亀山市、海津市、 大垣市)
	外国籍住民のための発展型防 災セミナーの環境整備:港防 災センターでの研修実践 (留学生センター)	本プロジェクトでは、昨年度作成した見学ガイドと音声ガイドを活用し、学内及び学外で発展型研修としての防災セミナーを実施する。大学と地域が連携して、東海地域に居住する外国籍住民が災害についての理解を深め、かつ、彼らを受け入れる社会や関係機関が彼らの視点も取り入れながら環境を整備していけるよう大学の専門性をもって貢献する。	名古屋市港防災セン ター、名古屋市
	名古屋市一般高齢者施策「は つらつ長寿推進事業」の介護 予防に与える効果に関する縦 断的研究 (総合保健体育科学センター)	行う。はつらつ長寿推進事業は、これまで名古屋市社会福祉協議会が委託を受け実施しているが、	名古屋市

# 公開講座開催状況

## 平成21年度実績

主催	講 座 名	開催期間	開催日数 (延べ講義時間)	受講者数
名古屋大学(全学企画)	だいじょうぶか!―安全・安心で持続可能な社会をめざして―	8/18~10/15	15 (22.5)	139
名古屋大学(全学企画・ラジオ)	だいじょうぶか!一安全・安心で持続可能な社会をめざして一	7/ 5~ 9/ 6	10 ( 5.0)	-

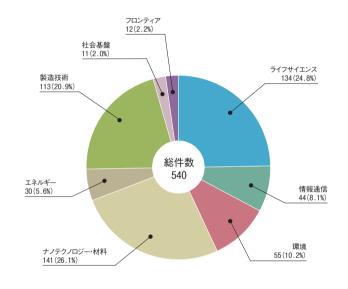
### 平成22年度計画

主	催	講座名	開催期間	開催日数 (延べ講義時間)	募集人数
名古屋大学(全等	学企画)	未来を切り開く一挑戦する Nagoya University	8/17~10/14	15 (22.5)	200
名古屋大学(全等	学企画・ラジオ)	未来を切り開く一挑戦する Nagoya University	7/ 4~ 9/ 5	10 ( 5.0)	_

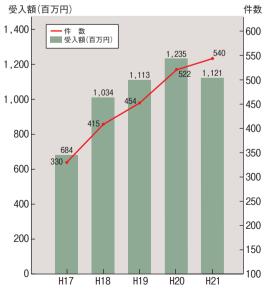
# 産学協力の現状

民間等との共同研究実施件数(研究分野別)平成21年度

	× (1) 1) 1	737   八八二十反
区 分	実施件数	比 率
ライフサイエンス	134	24.8%
情報通信	44	8.1%
環境	55	10.2%
ナノテクノロジー・材料	141	26.1%
エネルギー	30	5.6%
製造技術	113	20.9%
社会基盤	11	2.0%
フロンティア	12	2.2%
슴 計	540	100.0%

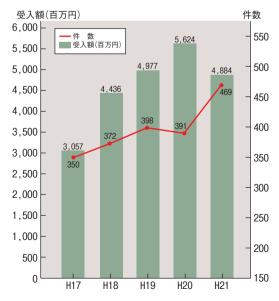


## 民間等との共同研究実績件数及び受入金額



注 受入額は決算額ベースの計数。

## 受託研究経費(政府出資金を含む)受入件数及び受入金額



注 受入件数は治験・病理組織検査を除く。 受入額は決算額ベースの計数。

## 寄附講座・寄附研究部門設置状況

**寄附講座** 平成22年7月1日現在

部局名	寄附講座名	設置期間		寄附総額	寄附者
即同在	<b>台門神座石</b>	始期	終期	(千円)	<b>台</b> 刚有
医学系研究科	画像情報外科学(ジョンソン・エンド・ジョンソン)	H16. 4. 1	H23. 3.31	210,000	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
医学系研究科	代謝性疾患学	H17.10. 1	H22. 9.30	125,000	株式会社三和化学研究所
医学系研究科	消化器疾患病態論	H18. 1. 1	H22.12.31	150,000	シェリング・プラウ株式会社
医学系研究科	先端医療バイオロボティクス学	H18. 1. 1	H22.12.31	125,000	特定非営利活動法人先端医療推進機構 株式会社スギヤマ薬品 小林製薬株式会社
医学系研究科	免疫機能制御学	H19. 4. 1	H24. 3.31	250,000	ノバルティスファーマ株式会社
医学系研究科	CKD(慢性腎臓病)地域連携システム	H20.11. 1	H25.10.31	136,000	アステラス製薬株式会社 ファイザー株式会社 大日本住友製薬株式会社 中外製薬株式会社 ノバルティスファーマ株式会社 万有製薬株式会社
医学系研究科	造血細胞移植情報管理·生物統計学(日本造血細胞移植学会)	H21. 1. 1	H23.12.31	75,000	日本造血細胞移植学会
医学系研究科	尿毒症病態代謝学	H21. 4. 1	H26. 3.31	125,000	株式会社クレハ
医学系研究科	医療システム管理学	H21. 4. 1	H26. 3.31	200,000	大洋薬品工業株式会社
理学研究科	光赤外天文計測学	H21. 4. 1	H23. 3.31	40,000	株式会社ナノオプトニクス研究所
経済学研究科	社会福祉経済学(アイカ工業)	H21. 6. 1	H26. 5.31	200,000	アイカ工業株式会社
医学系研究科	外科感染症学	H21.10. 1	H24. 9.30	75,000	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
医学系研究科	地域医療教育学	H21.10. 1	H26. 3.31	135,000	愛知県 財団法人愛知県市町村振興協会 名古屋市
環境学研究科	しんきん環境事業イノベーション	H22. 1. 1	H24.12.31	105,000	岡崎信用金庫 (含グループ会社) 蒲郡信用金庫 豊川信用金庫 豊田信用金庫 豊田信用金庫 西尾信用金庫 西尾信用金庫
医学系研究科	腎不全総合治療学	H22. 2. 1	H25. 1.31	110,000	バクスター株式会社
医学系研究科	分子循環器学(Department of Molecular Cardiology) (興和)	H22. 7 .1	H26. 6.30	100,000	興和株式会社

**寄附研究部門** 平成22年5月1日現在

部局名	寄附研究部門名	設置期間		寄附総額	寄附者
即何右	句例如九郎 14	始期	終期	(千円)	可附有
エコトピア科学研究所	エネルギーシステム(中部電力)	H22. 4. 1	H26. 3.31	120,000	中部電力株式会社

# 部局別特許件数 平成22年4月1日現在

区分	国内		外	A =1	
	単 独	共 同	単 独	共 同	合 計
理学研究科	10	5	1		16
医学系研究科	5	3	1		9
医学部附属病院	2				2
工学研究科	74	31	15	24	144
生命農学研究科	4	7	5	9	25
環境学研究科	3	1		3	7
情報科学研究科	1	1		2	4
環境医学研究所				3	3
太陽地球環境研究所		1			1
エコトピア科学研究所	5		1		6
地球水循環研究センター	1				1
情報基盤センター		1		2	3
遺伝子実験施設	6		2		8
物質科学国際研究センター	3				3
生物機能開発利用研究センター		1		7	8
合 計	114	51	25	50	240

# 財政状況(平成21年度予算決算額)

## 収入

区 分	決算額(百万円)
運営費交付金	35,989
施設整備費補助金	8,513
補助金等収入	4,886
国立大学財務・経営センター施設費交付金	89
自己収入	35,367
授業料·入学金·検定料収入	9,201
医学部附属病院収入	25,418
雑収入	748
産学連携等研究収入、寄附金収入等	12,568
引当金取崩	36
長期借入金収入	786
承継剰余金	0
目的積立金取崩	4,677
合 計	102,911

## 支出

区 分	決 算 額(百万円)			
<u> </u>	人件費	物件費	施設費	合 計
業務費	35,997	28,382		64,379
教育研究経費	25,120	12,312		37,432
診療経費	10,877	16,070		26,947
一般管理費	1,766	3,951		5,717
施設整備費			9,388	9,388
補助金等	1,635	3,251		4,886
産学連携等研究費、寄附金事業費等	2,312	8,284		10,596
長期借入金償還経費		4,559		4,559
合 計	41,710	48,427	9,388	99,525

注 長期借入金償還経費は国立大学財務・経営センター施設費貸付事業に係る償還金。

# 平成21年度外部資金の状況

注 件数及び金額は決算額ベースの計数。金額には間接経費を含む。

## 科学研究費補助金

研究種目	件数	金 額(千円)
特別推進研究	1	13,000
特定領域研究	156	1,074,014
新学術領域研究	58	468,550
基盤研究(S)	37	539,701
基盤研究(A)	151	862,211
基盤研究(B)	433	1,301,414
基盤研究(C)	443	516,443
挑戦的萌芽研究	111	129,528
若手研究(S)	7	117,090
若手研究(A)	35	238,669
若手研究(B)	274	430,343
若手研究(スタートアップ)	42	56,003
奨励研究	4	1,700
研究成果公開促進費	8	34,200
特別研究員奨励費	226	163,652
学術創成研究費	14	376,885
合 計	2,000	6,323,403

注 研究分担者による受入件数・金額を含む。 挑戦的萌芽研究は萌芽研究5件、4,187千円を含む。

## 科学研究費補助金受入状況



## グローバル COE プログラム

区 分	件	数	金	額(千円)
研究拠点形成費等補助金		7		1,854,759

注 二次校に対する分担金を除く。

## 国際化拠点整備事業 (グローバル30)

区 分	件 数	金 額(千円)
国際化拠点整備事業費補助金	1	325,848

### GP 等

C. (3		
区 分	件 数	金額(千円)
大学改革推進等補助金		
現代的教育ニーズ取組支援プログラム (現代 GP)	1	16,600
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム	1	20,000
専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム	1	1,985
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム	1	10,880
がんプロフェッショナル養成プラン	1	55,466
大学病院業務改善推進事業	1	51,300
周産期医療環境整備事業 (NICU 等設置 )	1	35,923
大学病院連携型高度医療人養成推進事業	1	30,353
研究拠点形成費等補助金		
組織的な大学院教育改革推進プログラム	5	124,058
教育研究高度化のための支援体制整備事業	1	486,719
産学連携による実践型人材育成事業	2	14,197
先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム	1	46,201
合 計	17	893,682

注 二次校に対する分担金を除く。

## その他の政府補助金等

区分	件 数	金 額 (千円)
建設技術研究開発費補助金	2	20,690
産業技術研究助成事業費助成金	16	183,235
厚生労働科学研究費補助金	107	548,209
厚生労働省がん研究助成金	14	25,250
循環型社会形成推進科学研究費補助金	8	47,949
科学技術総合推進費補助金	10	661,298
国際化拠点整備事業費補助金	3	22,911
研究開発施設共用等促進費補助金	3	69,300
原子力研究環境整備補助金	1	1,482
設備整備費補助金	44	1,746,436
疾病予防対策事業費等補助金	1	22,000
研究者海外派遣基金助成金	6	151,970
医療施設運営費等補助金	1	25,000
名古屋市新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備費補助金	1	4,000
ものづくり分野の人材育成・確保事業補助金	1	3,085
住宅市場整備等推進事業費補助金	1	2,000
合 計	219	3,534,815

注 研究分担者による受入件数・金額を含む。 国際化拠点整備事業費補助金はグローバル30を除く。

## 寄附金等

区分	件 数	金 額 (千円)
寄附金	3,270	3,593,557
受託研究経費	469	4,884,075
民間等との共同研究	540	1,121,056
受託事業	55	589,028
合 計	4,334	10,187,716

注 受託研究経費の受入件数は治験・病理組織検査を除く。 受託事業の受入件数は受託研究員・研修員等の受入を除く。

## 寄附金受入状況



# 運動施設・課外活動施設等一覧

地区	施設	主な用途	面積(m²)
	第1体育館	バドミントン、バスケットボール、バレーボール など	1,110
	第2体育館	卓球、トレーニングなど	611
	第3体育館	剣道、各種拳法など	369
	第4体育館	柔道、合気道など	308
A 2445-7-15-E272	第5体育館	ダンス、各種拳法	190
全学教育棟周辺	屋内プール(25m×7コース)	水泳、水球など	853
	弓道場	弓道	140
	相撲道場	相撲	143
	ボクシング練習場	ボクシング	93
	第3文化サークル室	サークル16	270
	第6屋外運動場倉庫	サークル・クラブ10	212
	陸上競技場(トラック、400m×6コース)	陸上競技	14.010
	陸上競技場(フィールド)	サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールなど	14,019
	野球場	野球、ソフトボールなど	12,508
	硬式テニスコート (7面)	硬式テニス	4,678
	軟式テニスコート (4面)	ソフトテニス	2,590
	多目的コート	フットサルなど	1,664
	ゴルフ練習場	ゴルフ	337
W A / [ ] [ ]	新体育館 (アリーナ)	ハンドボール、バドミントン、バスケットボール、 バレーボールなど	1,104
総合保健体育科学センター周辺	新体育館 (トレーニング・ルーム)	トレーニングなど	316
	アーチェリー練習場	アーチェリー	440
	ライフル射撃場	ライフル射撃	223
	総合保健体育科学センター多目的棟(1階)	/ <sub>2</sub> = −₹0	101
	総合保健体育科学センター第二多目的棟(1階)	- クラブ3	161
	総合運動場複合棟	更衣室、部室、音楽練習場、講義室など	649
	第2屋外運動場倉庫	陸上競技部・サッカー部	46
	第3屋外運動場倉庫	自動車部	171
	第4屋外運動場倉庫	ソフトテニス部	28
	学生会館	集会室9、和室3、談話室1	1,482
学生会館周辺	第1文化サークル室	サークル9	160
	第2文化サークル室	サークル12	255
	体育合宿所	合宿室3	378
体育合宿所周辺	音楽練習室	楽器演奏(練習)	414
	体育系課外活動共用施設	サークル20	345

# 福利厚生施設等設置状況

	地	区	施 設	概 要	面積(m²)
				食堂:ホール (320席)	479
			北部厚生会館	食堂:ホール (50席)	72
				売店	768
			南部厚生会館	売店	628
			南部食堂	食堂:ホール (712席)	1,901
				パンショップ	81
			フォレスト	書籍・カフェ (60席) 食堂:ホール (220席)	572 348
			フレンドリィ南部	食堂:ホール (240席)	356
			プランゾ	校里・ボール (240所)   ベーカリー・カフェ	70
東山地区				食堂:ホール(80席)	194
			グリーン・サロン東山	長宝・バール (ou/h)   売店	66
			IB カフェ	カフェ:ホール (36席)	74
			共同教育購買	売店	27
			農学部売店	売店	19
			七味亭	食堂:ホール (108席)	264
			シアトルエスプレス	カフェ (33席)	42
			PHONON CAFE ROOM sis BRANCH	カフェ(12席)	12
			スターバックスコーヒー名古屋大学附属図書館店	カフェ (29席)	42
			学生食堂	食堂 (264席)	411
			福利施設	書籍	124
			鶴友会館	食堂·喫茶 (112席)	156
			医系研究棟1号館売店	コンビニエンスストア	49
鶴舞地区			喫茶ねむ (病棟1階)	カフェ (60席)	109
			レストラン花の木(病棟1階)	食堂(102席)	157
			喫茶つる (病棟13階)	カフェ (44席)	79
			レストラン ソレイユ (病棟14階)	食堂 (50席)	120
			福利施設(オアシスキューブ)	コンビニエンスストア・カフェ(46席)	638
大幸地区			大幸厚牛会館	食堂:ホール (120席)、購買	259
八干地区			八十月エム頃	売店	31

# 教職員・学生用宿泊施設

施設	概要	収容定員	面積(m²)	所 在 地
東海地区国立大学共同中津川研修センター	宿泊室(30m²)2室 // (21m²) 2室 // (20m²) 7室 // (19m²) 1室 第1研修室(143m²) 第2・第3研修室(113m²)	100名	1,267	〒508-0101 岐阜県中津川市苗木字岩須639-20
蓼科宿泊施設	宿泊室(25m²)2室 〃 (11m²)5室	20名	327	〒391-0395 長野県茅野市北山4035

# 学生寮・その他施設

施設	概 要	所 在 地
国際嚶鳴館	3棟 (6,445m²) 日本人学生・留学生用 収容人員292名 (男子212名(留学生30名含む)、女子80名(留学生30名含む))	〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165
インターナショナルレジデンス東山	夫婦室 (34m²) 15室 外国人研究者用       家族室 (51.84m²) 2室 "       単身室 (16m²) 95室 留学生用       夫婦室 (34m²) 25室 "	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
インターナショナルレジデンス山手	単身室(15m²)106室 留学生用	〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165
リサーチャーズビレッジ東山	家族室(76.45m²·78.33m²)2室 外国人研究者用 "(67.5m²)4室 "	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
リサーチャーズビレッジ大幸	単身室(28m²)14室 外国人研究者用	〒461-0047 名古屋市東区大幸南1-1-20
リサーチャーズビレッジ八雲	家族室·夫婦室(53m²)9室 外国人研究者用	〒466-0823 名古屋市千種区八雲町28
留学生会館	単身室 (12.5m²) 49室 留学生用       夫婦室 (35m²) 5室 "       家族室 (50m²) 2室 "	〒466-0026 名古屋市昭和区陶生町2-23
野依記念学術交流館・外国人研究者用居住施設	単身室 (50.98m²~54.15m²)       3室 外国人研究者用         夫婦室 (81.01m²~91.10m²)       5室 "         家族室 (97.17m²・107.35m²)       2室 "	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
猪高町宿舎	単身室 (21.06m²) 26室 外国人研究者用	〒465-0094 名古屋市名東区亀の井2-38

# 保育園・保育所

	概要	収容定員	所 在 地
こすもす保育園	保育室6室	60名	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
あすなろ保育園	保育室3室	40名	〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65
学童保育所	学童室1室	60名	〒464-8601 名古屋市千種区不老町

	土	地	建	物
	資産(m²)	借入 (m²)	資産 (m²)	借入 (m²)
東山地区	698,380	105	412,617	
本部				
豊田講堂(含シンポジオン)			6,544	
広報プラザ			393	
インキュベーション施設			1,010	
福利厚生施設(学生会館、アメニティハウス、課外活動施設等)			15,197	
インターナショナルレジデンス東山			4,950	
保育所			576	
本部建物等			22,953	
附属図書館(中央図書館)			15,730	
文学研究科・文学部			6,262	
教育発達科学研究科・教育学部			5,618	
教育学部附属中・高等学校			10,345	
法学研究科・法学部			4,580	
経済学研究科・経済学部			5,525	
法学部及び経済学部共用館			6,163	
情報文化学部·全学教育棟			20,370	
理学研究科・理学部			52,821	
工学研究科・工学部			107,078	
生命農学研究科・農学部			27,037	
国際開発研究科			6,203	
多元数理科学研究科			4,230	
国際言語文化研究科			2,579	
環境学研究科			6,118	
情報科学研究科			8,912	
総合保健体育科学センター			9,425	
環境医学研究所			5,301	
宇宙線望遠鏡研究室(太陽地球環境研究所)			1,442	
			1,447	
エコトピア科学研究所				
先端技術共同研究施設			2,032	
地球水循環研究センター			3,982	
情報基盤センター			5,642	
アイソトープ総合センター			2,812	
遺伝子実験施設			1,206	
留学生センター			1,774	
古川記念館(含博物館、年代測定総合研究センター)			4,263	
生物機能開発利用研究センター			2,629	
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー			2,109	
文系総合館			7,824	
共同教育研究施設			19,535	
鶴舞地区	89,137		232,043	
医学部医学科、医学系研究科	60,107		57,089	
			173,601	
医学部附属病院(含看護師宿舎)				
1 まから	40, 400		1,353	
大幸地区	48,463		28,839	
医学部保健学科、医学系研究科			26,579	
大幸医療センター			172	
事務局(リサーチャーズビレッジ大幸)			720	
総合保健体育科学センター(体育館)			1,368	
名古屋地区				
事務局(愛知医学校記念碑)		5		
愛知県豊川地区				
太陽地球環境研究所(豊川分室)	187,780	36	7,721	
愛知県犬山地区				
環境学研究科附属地震火山・防災研究センター犬山地震観測点		6,254	358	
愛知県豊橋地区		0,207	550	
<sup>変 ス 宗 豆 何 辺                                </sup>		1,592	211	
	000 703	1,092		
愛知県東郷地区  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	283,731		5,173	
生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド	283,731		4,854	
馬術部厩舎			319	
愛知県稲武・設楽地区	1,597,828	4,987	2,425	
生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武フィールド	(地上権) 1,438,709	4,987	950	
生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター設楽フィールド	159,119		1,475	
愛知県幡豆地区				
事務局(元佐久島観測所)	985		206	
三重県地区				
理学研究科附属臨海実験所	(地上権) 33,057	568	1,831	
皮阜県地区		26,202	2,684	
環境学研究科附属地震火山・防災研究センター高山地震観測点		2,486	388	
		∟, ⊤∪∪	000	

	土	地	建物		
	資産 (m²)	借入 (m²)	資産 (m²)	借入(m²)	
長野県地区	11,386	9,540	781	33	
高原医学研究所(木曽福島山の家)	6,912		157		
高原気候医学研究所(蓼科宿泊施設)	4,474		558		
太陽地球環境研究所菅平観測施設		3,300		33	
太陽地球環境研究所木曽観測施設		6,240	66		
山梨県地区					
太陽地球環境研究所附属ジオスペース研究センター富士観測所	3,500	16,662	153		
鹿児島県地区					
太陽地球環境研究所附属ジオスペース研究センター鹿児島観測所	13,203	36	278		
北海道地区	110,533	24,580	375	81	
太陽地球環境研究所附属ジオスペース研究センター母子里観測所	110,533		326		
太陽地球環境研究所附属ジオスペース研究センター陸別観測所		24,580	49	81	
その他	74,133	6,203	49,439	384	
外国人教師宿舎(名古屋市瑞穂区中山町、高田町)	1,636		684		
国際嚶鳴館、インターナショナルレジデンス山手(名古屋市昭和区高峯町)	10,691		8,454		
留学生会館(名古屋市昭和区陶生町)	1,809		2,064		
リサーチャーズビレッジ八雲(名古屋市昭和区八雲町)	731		708		
法人宿舎(9団地)	56,187		36,741		
ヨット艇庫(愛知県蒲郡市海陽町)		218	199		
ボート艇庫(名古屋市中川区大蟷螂町)	1,563		589		
観測施設等(愛知県豊田市稲武町他82ヶ所)		5,270		384	
気象観測塔(愛知県瀬戸市川平町)		715			
保育所敷地(東山地区、鶴舞地区)	1,516				
	3,152,116	96,770	745,134	498	
	3,248	3,248,886		745,632	

## 中期目標・中期計画

#### (前文) 大学の基本的な目標(学術憲章)

名古屋大学は、基礎学術に立脚した基幹的総合大学としての役割と、その歴史的・社会的使命を確認し、その学術活動の基本理念として「名古屋大学学術憲章」を平成12年に定めた。この憲章を、大学の基本的な目標として以下に掲載する。

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。 とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する。このために、以下の基本目標および基本方針に基づく諸施策を実施し、基幹的総合大学としての責務を持続的に果たす。

#### 【研究と教育の基本目標】

- (1) 名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- (2) 名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。

#### 【社会的貢献の基本目標】

- (1) 名古屋大学は、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果た しうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- (2) 名古屋大学は、その立地する地域社会の特性を生かし、多面的な 学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。
- (3) 名古屋大学は、国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界 とりわけアジア諸国との交流に貢献する。

#### 【研究教育体制の基本方針】

- (1) 名古屋大学は、人文と社会と自然の諸現象を俯瞰的立場から研究 し、現代の諸課題に応え、人間性に立脚した新しい価値観や知識体 系を創出するための研究体制を整備し、充実させる。
- (2) 名古屋大学は、世界の知的伝統の中で培われた知的資産を正しく 継承し発展させる教育体制を整備し、高度で革新的な教育活動を推 進する。
- (3) 名古屋大学は、活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点を形成する。

#### 【大学運営の基本方針】

- (1) 名古屋大学は、構成員の自律性と自発性に基づく探究を常に支援 し、学問研究の自由を保障する。
- (2) 名古屋大学は、構成員が、研究と教育に関わる理念と目標および 運営原則の策定や実現に、それぞれの立場から参画することを求 める。
- (3) 名古屋大学は、構成員の研究活動、教育実践ならびに管理運営に 関して、主体的に点検と評価を進めるとともに、他者からの批判的 評価を積極的に求め、開かれた大学を目指す。

## ◆ 中期目標の期間及び教育研究組織

#### 1 中期目標の期間

平成22年4月~平成28年3月

#### 2 教育研究組織

この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科及 び別表2 $^{*1}$ に記載する共同利用・共同研究拠点を置く。

## I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

- 1 教育に関する目標
- (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標
  - M1 長期的視点に立って、質の高い教養・学部専門・大学院教育を行う。

### (2) 教育の実施体制等に関する目標

M2 教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。

#### (3) 学生への支援に関する目標

M3 自律的な学習と生活を支援する環境を充実させる。

## I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 教育に関する日標を達成するための措置
- (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置
  - K1 教養・学部専門教育を充実させる。
  - K2 大学院課程の教育体系を整備し、教育方法を改善する。
- K3 留学生等の多様な学生への教育を整備する。

### (2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置

- K4 全学教育体制を維持し、教養教育院の機能を充実させる。
- K5 教育の実施体制・方法・結果を点検し、改善に活かす。
- K6 学術的・社会的役割の観点から教育組織を見直し、必要に応じて整備する。

## (3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

- K7 学生への経済的援助や課外活動支援を行う。
- K8 学習・進学・就職・心身の健康管理を支援する体制を整備する。
- K9 支援を必要とする学生へのサポートを充実させる。

中期目標中期目標

#### 2 研究に関する目標

#### (1) 研究水準、成果及び実施体制等に関する目標

M4 本学の「研究推進計画」に基づき、国際水準の研究を推進する。

#### 3 その他の目標

#### (1) 社会との連携や社会貢献に関する目標

M5 社会・産業界・行政・他大学等との連携を通じて、社会に貢献する。

#### (2) 国際化に関する目標

M6 研究・教育・業務運営における国際化を進める。

#### (3) 学術の基盤に関する目標

M7 知の連携・継承・創造の礎となる学術基盤を充実させる。

#### (4) 附属病院に関する目標

M8 良質で安全な医療を提供する。

M9 臨床研究を通して社会に貢献する。

#### (5) 附属学校に関する目標

M10 附属学校の教育実践の質を高め、中高大連携を進める。

#### Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

#### 1 組織運営の改善に関する目標

M11 組織運営システムの機能強化を図る。

#### 2 事務等の効率化・合理化に関する目標

M12 事務等の効率化・合理化を図る。

#### Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

#### 1 外部資金、寄附金その他の自己収入に関する目標

M13 安定した財務基盤を維持する。

### 2 経費の抑制に関する目標

M14 「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」(平成18年法律第47号)に基づき、平成18年度以降の5年間において国家公務員に準じた人件費削減を行う。更に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」(平成18年7月7日閣議決定)に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成23年度まで継続する。また、経費の抑制に努める。

#### 3 資産の運用管理の改善に関する目標

M15 効率的に資産を運用する。

#### 2 研究に関する目標を達成するための措置

#### (1) 研究水準、成果及び実施体制等に関する目標を達成するための措置

- K10 中核的な研究拠点を形成する。
- K11 若手研究者を育成するための環境を整備する。
- K12 共同利用・共同研究拠点を含む研究所・センター等の機能と活動を充実させる。
- K13 質の高い学術成果を社会に発信する。

#### 3 その他の目標を達成するための措置

#### (1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置

- K14 様々な組織と協力し、教育·文化·福祉·安全の向上に貢献する。
- K15 産学官連携を推進し、社会に貢献する。
- K16 卒業生・修了生のコミュニティを通じ、社会との連携を深める。

#### (2) 国際化に関する目標を達成するための措置

- K17 国際プログラム群を設けること等により留学生の比率を10%以上に増やし、国際化に対応した教育プログラムを充実させる。
- K18 グローバルな視点で学術活動・国際協力を進める。
- K19 留学生・外国人研究者向け学内文書の日英併記化等により、業務運営における 国際化を進める。

#### (3) 学術の基盤に関する目標を達成するための措置

- K20 情報セキュリティを確保した学術情報基盤・サービスを充実させる。
- K21 附属図書館・博物館の機能と活動を充実させる。

#### (4) 附属病院に関する目標を達成するための措置

- K22 診療過程の標準化を進め、医療の質を維持・向上させる。
- K23 多様なキャリアパスに対応できる研修プログラムやセミナー等により、種々の専門領域の医療人育成に取り組む。
- K24 在宅医療支援ネットワークの構築等により、地域医療の連携体制を強化する。
- K25 IT 化の推進や集中治療室の増床等により、高度で先端的な医療を行う基盤を整備する。
- K26 次世代の臨床研究を進める。
- K27 遺伝子・再生医療センターを中心に臨床治験コーディネーター、専門看護師、 専門薬剤師等を育成し、臨床研究を支える人的基盤を整備する。

## (5) 附属学校に関する目標を達成するための措置

- K28 教育プログラムや教材の開発を進める。
- K29 附属学校と学部・研究科等との連携を進める。

#### Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

#### 1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

- K30 意思決定の機動性を高めるために、体制を継続的に見直す。
- K31 教員の一定数を特別枠として確保し、全学的見地から戦略的に活用する。
- K32 学内組織を継続的に見直す。
- K33 国内外の多様な人材を活用する。

#### 2 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置

- K34 職務能力開発・向上に取り組む。
- K35 業務の点検・見直し・改善を行う。

### Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

#### 1 外部資金、寄附金その他の自己収入に関する目標を達成するための措置

- K36 研究推進や産学官連携の担当部署による研究支援を強化し、外部研究資金を獲得する。
- K37 寄附金収入を確保するための多様な取組を行う。
- K38 病床再編や集中治療室の増床等により、病院機能を充実させ、収入確保に取り 組む。

## 2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置

- K39「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」(平成18年法律第47号)に基づき、国家公務員に準じた人件費改革に取り組み、平成18年度からの5年間において、△5%以上の人件費削減を行う。更に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」(平成18年7月7日閣議決定)に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成23年度まで継続する。
- K40 業務の見直し等により経費を抑制する。

#### 3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置

- K41 資金の安全かつ効率的な運用を進める。
- K42 学内資産を有効活用する。
- K43 学内施設管理の効率化を進める。

中期目標	中 期 計 画			
IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する 目標 1 自己点検・評価に関する目標 M16 自己点検・評価を適切に実施し、評価結果を改善に活用する。	IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するた にとるべき措置 1 自己点検・評価に関する目標を達成するための措置 K44 自己点検・評価を継続的に実施する。 K45 自己点検・評価システムを点検し、必要な改善を行う。 K46 部局評価を実施し、運営に活かす。			
2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標 M17 教育・研究活動等を積極的に発信し、説明責任を果たす。	2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置 K47 多様なメディアを活用し、教育・研究活動等を迅速に情報発信する。 K48 自己点検・評価等に関する情報発信を進める。			
V その他業務運営に関する重要目標 1 施設・設備の整備等に関する目標 M18 「名古屋大学キャンパスマスターブラン大綱」に基づき、環境に配慮したキャンパス整備を進める。	V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置 1 施設・設備の整備等に関する目標を達成するための措置 K49 次期キャンパスマスターブランを作成し、施設設備の計画的更新等により、教育研究環境を整備する。 K50 環境保全と省エネルギー設備の整備等を進める。			
<b>2 安全管理に関する目標</b> M19 安全なキャンパスづくりを進める。	2 安全管理に関する目標を達成するための措置         K51 安全性の高い学内環境を整備する。         K52 防災・災害対策を進める。			
3 法令遵守に関する目標 M20 法令を遵守し、適正な業務の遂行に努める。	3 法令遵守に関する目標を達成するための措置 K53 法令遵守に関する啓発活動と、情報セキュリティに関する対策を行う。 K54 法令遵守の状況を定期的に点検する。			
	VI 予算 (人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画 別紙参照 <sup>*2</sup>			
	VII 短期借入金の限度額 1 短期借入金の限度額 86億円 2 想定される理由 運営費交付金の受け入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として 借り入れることが想定されるため。			
	<ul> <li>▼Ⅲ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</li> <li>1 重要な財産を譲渡する計画</li> <li>なし</li> <li>2 重要な財産を担保に供する計画</li> <li>附属病院の施設・設備に必要となる経費の長期借入れに伴い、本学の土地及び建物を</li> </ul>			
	担保に供する。  IX			
	X その他 1 施設・設備に関する計画			
	施設・設備の内容 予定額(百万円) 財源			
	・総合研究棟(理・農学系)     総額 4,802     施設整備費補助金 (3,446)       ・第一体育館改修     船舶建造費補助金 (0)       ・農学部講義棟改修     長期借入金 (582)       ・総合周産期母子センター改修     国立大学財務・経営センター       ・附属病院中央診療棟(MICU)改修     施設費交付金 (534)       ・小規模改修 他     目的積立金 (240)			
	(注1) 金額については見込みであり、中期目標を達成するために必要な業務の実施状況等を勘案した施設・設備の整備や老朽度合等を勘案した施設・設備の改修等が追加されることもあり得る。 (注2) 小規模改修について平成22年度以降は平成21年度同額として試算している。 なお、各事業年度の施設整備費補助金、船舶建造費補助金、国立大学財務・経営センター施設費補助金、長期借入金については、事業の進展等により所要額の変動が予想されるため、具体的な額については、各事業年度の予算編成過程等において決定される。			
	2 人事に関する計画 1. 教員の一定数を特別枠として確保し、全学的見地から戦略的に活用する。 2. 国内外の多様な人材を活用する。 3. 職務能力開発・向上に取り組む。 (参考)中期目標期間中総額214,939百万円を支出する。(退職手当は除く。)			

中 期 目 標	中期計画				
	3 中期目標期間を超える債務負担 (長期借入金) (単位:百万円)				
		総債務 償還額			
	長期借入金償還金 (国立大学財務・ 経営センター) 3,863 3,827 3,824 3,896 4,060 4,075 23,545 26,415 4	49,960			
	(注) 金額については、見込みであり、業務の実施状況等により変更されることもある。				
	4 積立金の使途 前中期目標期間繰越積立金については、次の事業の財源に充てる。 ① 附属病院中央診療棟 (MICU) 改修事業に係る施設設備整備費の一部 ② その他教育、研究、診療、施設整備に係る業務及びその他附帯業務				

<sup>※1</sup> 別表については、http://www.nagoya-u.ac.jp/pdf/about-nu/objectives/obj-plan-2nd.pdf#page=22を参照。

<sup>※2</sup> 別紙については、http://www.nagoya-u.ac.jp/pdf/about-nu/objectives/obj-plan-2nd.pdf#page=12を参照。

総合案内 052-789-5111 nuinfo@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

## 東山地区

〒464-8601 (理、工を除く東山地区)

〒464-8602 (理)

名古屋市千種区不老町 TEL(052)789-(ダイヤルイン番号)

〒464-8603 (工)

財務部(2057) 研究協力部(2039) 国際部(2191) 施設管理部(2115) 学務部(2159)

総 務 部 (2012)

本部、監査室、教養教育院、高等研究院、大学院文学研究科・文学部、大学院文学研究科附属日本近 現代文化研究センター、大学院教育発達科学研究科・教育学部、教育学部附属中・高等学校、大学院法 学研究科・法学部、大学院法学研究科附属法情報研究センター、大学院経済学研究科・経済学部、大学 院経済学研究科附属国際経済政策研究センター、情報文化学部、大学院理学研究科・理学部、大学院 理学研究科附属南半球宇宙観測研究センター、大学院理学研究科附属構造生物学研究センター、大学 院理学研究科附属タウ・レプトン物理研究センター、大学院工学研究科・工学部、大学院工学研究科附 属プラズマナノ工学研究センター、大学院工学研究科附属バックキャストテクノロジー研究センター、大 学院工学研究科附属計算科学連携教育研究センター、大学院工学研究科附属複合材工学研究センター、 大学院工学研究科附属マイクロ・ナノメカトロニクス研究センター、大学院生命農学研究科・農学部、大 学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター、大学院生命農学研究科附属鳥類バイオサイ エンス研究センター、大学院国際開発研究科、大学院多元数理科学研究科、大学院国際言語文化研究科、 大学院環境学研究科、大学院環境学研究科附属地震火山・防災研究センター、大学院環境学研究科附 属交通・都市国際研究センター、大学院情報科学研究科、大学院情報科学研究科附属組込みシステム研 究センター、総合保健体育科学センター、素粒子宇宙起源研究機構、環境医学研究所、環境医学研究 所附属近未来環境シミュレーションセンター、太陽地球環境研究所、太陽地球環境研究所附属ジオスペー ス研究センター、エコトピア科学研究所、エコトピア科学研究所附属アジア資源循環研究センター、附 属図書館、附属図書館研究開発室、地球水循環研究センター、情報基盤センター、アイソトープ総合セ ンター、遺伝子実験施設、留学生センター、物質科学国際研究センター、高等教育研究センター、農学 国際教育協力研究センター、年代測定総合研究センター、博物館、発達心理精神科学教育研究センター、 法政国際教育協力研究センター、生物機能開発利用研究センター、シンクロトロン光研究センター、基 礎理論研究センター、現象解析研究センター、大学文書資料室、学生相談総合センター、留学生相談室、 全学技術センター、その他



#### 鶴舞地区

〒466-8550 (医学部医学科) 〒466-8560 (医学部附属病院)

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL (052)741-2111

医学部医学科、大学院医学系研究科、医学部附属病院、大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター、大学院医学系研究科附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター、附属図書館医学部分館、アイソトープ総合センター分館



### 大幸地区

〒461-8673 (医学部保健学科) 〒461-0047 (大幸医療センター)

名古屋市東区大幸南1の1の20

TEL(052)719-1504 (医学部保健学科) TEL(052)719-1946 (大幸医療センター)

医学部保健学科、大学院医学系研究科、大幸医療センター



## 豊川地区

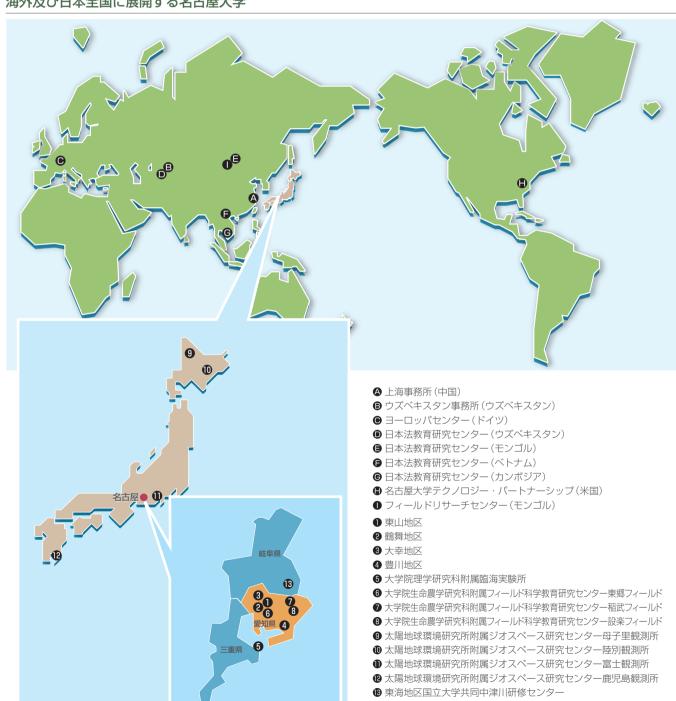
〒442-8507

愛知県豊川市穂ノ原3の13

太陽地球環境研究所豊川分室



## 海外及び日本全国に展開する名古屋大学









68 野依記念物質科学研究館



67 高等総合研究館



69 野依記念学術交流館

- ② 理学部超高圧電子顕微鏡室
- ② 理学部極低温実験室
- @ 理学部超高圧力発生装置室
- ② 理学館
- ② 工学部・工学研究科事務棟
- 29 大学院丁学研究科1号館
- 👊 大学院工学研究科2号館
- 3 大学院工学研究科3号館
- ₩ 大学院工学研究科4号館
- 38 大学院工学研究科5号館
- 34 大学院工学研究科6号館
- (5) 大学院工学研究科7号館 学生相談総合センター 情報メディアセンターラボ
- 60 大学院工学研究科8号館
- 37 大学院工学研究科9号館
- 38 大学院工学研究科超高圧力高温実験室
- 🔞 大学院工学研究科航空機械研究実験棟
- 40 大学院生命農学研究科・農学部
- 4 全学教育棟 教養教育院
  - 情報文化学部
- ② 大学院情報科学研究科
- 43 全学教育棟 A 館
- 44総合保健体育科学センター
- 心心口体性体自行子
- 5 大学院国際開発研究科5 大学院国際言語文化研究科
- 環境総合館 大学院環境学研究科 災害対策室

- 48 環境医学研究所
- 49 宇宙線望遠鏡研究室(太陽地球環境研究所)
- 動インキュベーション施設
- **(1)** ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
- 超高圧電子顕微鏡施設
- **63** 先端技術共同研究施設
- ₫ 高効率エネルギー変換研究施設西館
- 5 地球水循環研究センター
- 66情報基盤センター
- 毎留学生センター

  法政国際教育協力
- 法政国際教育協力研究センター
- 59 古川記念館
  - 博物館
  - 年代測定総合研究センター
- ❸ 博物館野外観察園セミナーハウス
- 6 生物機能開発利用研究センター
- ಈ 共同教育研究施設 1号館太陽地球環境研究所
- ❸ 共同教育研究施設2号館 エコトピア科学研究所<sup>\*</sup> 農学国際教育協力研究センター
- 6 総合研究実験棟
- ⑤ IB 電子情報館 留学生相談室 創造工学センター
- 66 文系総合館
  - 高等教育研究センター
- ⑤ 高等総合研究館 高等研究院

- (3) 野依記念物質科学研究館 物質科学国際研究センター
- 69 野依記念学術交流館
- 赤崎記念研究館赤崎記念研究センター産学官連携推進本部
- かシンクロトロン光研究センター
- 保健管理室
- ❷ 体育館・プール
- 74 新体育館
- 75 教育学部附属中・高等学校
- 76 学生会館
- 70 北部厚生会館
- 78 南部厚生会館
- № アメニティハウス
- 80 フォレスト
- ③ インターナショナルレジデンス東山
- ❷ リサーチャーズビレッジ東山
- 88 体育合宿所
- 84 課外活動施設
- 総合運動場複合棟
- 86 エネルギーセンター
- 87総合案内
- ・
   ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   れ ・
   か ・
   か ・
   か ・
   か ・
   れ ・
   か ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
   れ ・
- ○地下鉄
- ♀バス停





17 外来棟

# 鶴舞地区

- 基礎医学研究棟
- 2 附属図書館医学部分館
- 3 鶴友会館
- 4 厚生会館
- ⑤ アイソトープ総合センター分館
- 6 基礎医学研究棟別館
- 7 解剖教育施設保存棟
- 制属医学教育研究支援センター (実験動物部門)
- 9 医系研究棟1号館
- 病棟
- 特殊診療棟
- 12 エネルギーセンター棟
- 13 看護師宿舎 A 棟
- 4 中央診療棟
- 15 医系研究棟2号館
- ⑥ 看護師宿舎 B 棟
- 17 外来棟

# 大幸地区

- 医学部保健学科南館・大幸医療センター
- 2 医学部保健学科本館
- 3 体育館
- 4 コバルト棟
- 5 エネルギーセンター
- 6 厚生会館
- 7車庫
- 8 医学部保健学科別館
- 9 弓道場
- ⑩ 医学部保健学科東館
- リサーチャーズビレッジ大幸







## 名古屋広域マップ

